

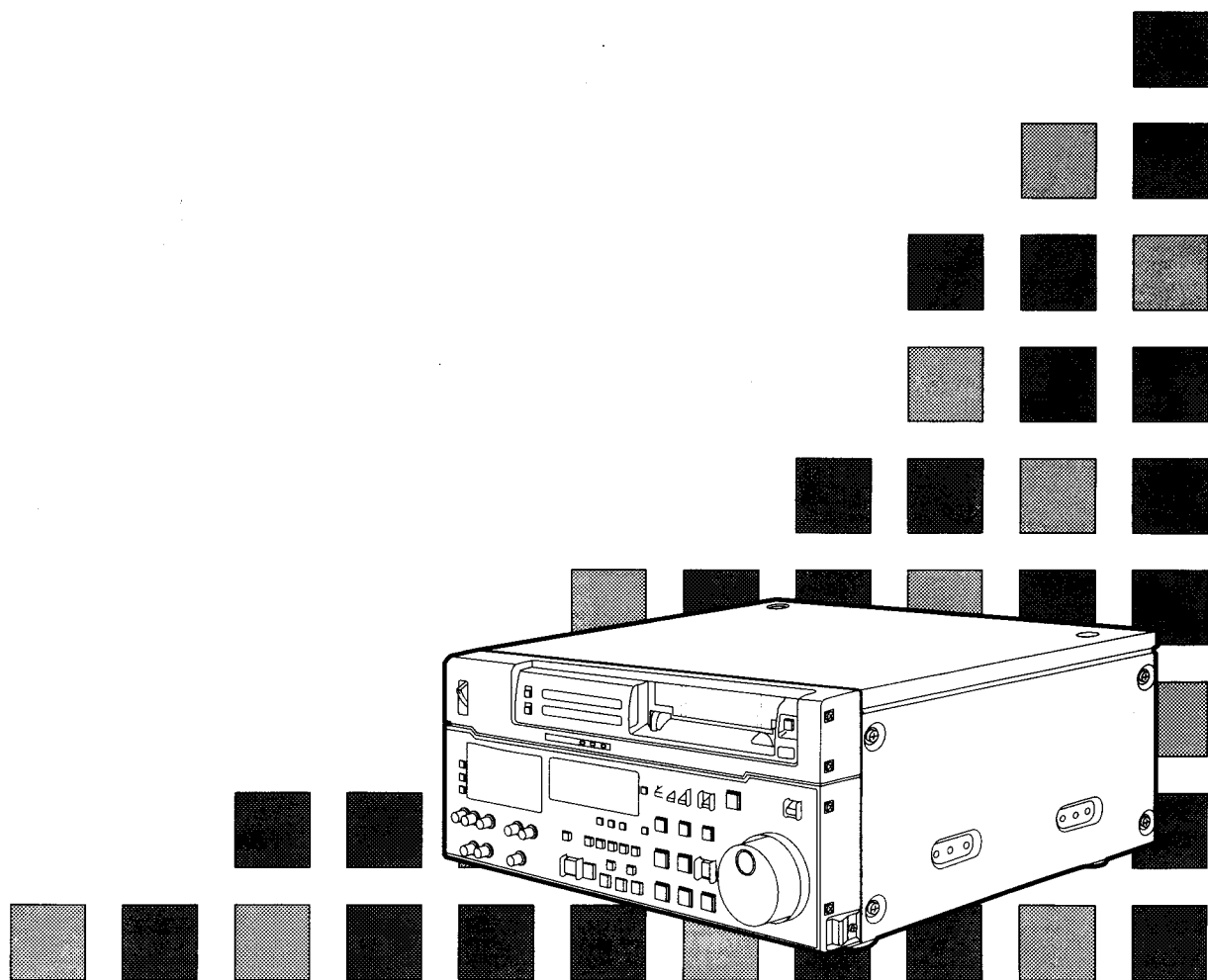
# Panasonic

**DVCPRO**  
DIGITAL VIDEO CASSETTE

Digital Video Cassette Recorder

**AJ-D750**

**取扱説明書**



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使うって上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目次

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 安全上のご注意                     | 4-7   |
| 概要・特長                       | 8-9   |
| 各部の名称と機能                    |       |
| ●フロントパネル                    | 10-17 |
| ●フロントパネル下部                  | 18-19 |
| ●コネクタ部                      | 20-22 |
| 接続                          |       |
| ●1台での接続                     | 23    |
| ●2台での接続例                    | 24    |
| ●編集コントローラとの接続例              | 25    |
| ●ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整のための接続 | 26    |
| テープ                         | 27    |
| 電源投入/カセット挿入                 | 28    |
| STOP/STANDBYモード             | 29    |
| 記録                          | 30    |
| 再生                          | 31    |
| ジョグ/シャトル                    | 32    |
| 手動編集                        | 33    |
| プリロール                       | 34    |
| 自動編集                        | 35    |
| ●スイッチの設定と調整                 | 36    |
| ●編集モードの選択                   | 37    |
| ●編集点の登録                     | 38    |
| ●編集点の確認                     | 39    |
| ●編集点の訂正                     | 40    |
| ●レビュー                       | 41    |
| ●自動編集の実行                    | 42    |
| ●レビュー                       | 43    |
| ●スプリット編集                    | 44    |
| ●オーディオスプリット編集               | 45    |
| ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整        | 47    |

## 保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

### 著作権（録画テープの取扱い）

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 目次

---

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| セットアップ (初期設定) .....             | 48    |
| セットアップメニュー .....                | 49    |
| •SYSTEM .....                   | 53    |
| •BASIC .....                    | 54    |
| •OPERATION .....                | 56    |
| •INTERFACE .....                | 58    |
| •EDIT .....                     | 58    |
| •TAPE PROTECT .....             | 62    |
| •TIME CODE .....                | 63    |
| •VIDEO .....                    | 65    |
| •AUDIO .....                    | 66    |
| •MENU .....                     | 69    |
| タイムコード/ユーザービットについて .....        | 70    |
| •内部/外部タイムコードの記録 .....           | 71    |
| •タイムコード/ユーザービットの再生 .....        | 72    |
| スーパーインポーズ画面 .....               | 73    |
| サーボリファレンス .....                 | 74-75 |
| 音声Vフェード機能 .....                 | 76    |
| 回路板 .....                       | 77    |
| ラックマウント .....                   | 78    |
| コネクタの信号 .....                   | 79-80 |
| ビデオヘッドクリーニング .....              | 81    |
| 結露 .....                        | 81    |
| エラーメッセージ .....                  | 82-83 |
| エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯) ..... | 84-85 |
| 定格 .....                        | 86-87 |

---

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

## オプション



- コンポーネントシリアルインターフェースボード AJ-YA750P
- カセットアダプタ AJ-CS750P
- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P

# 安全上のご注意




必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。




|   |           |   |
|---|-----------|---|
|  | <b>警告</b> | この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |
|  | <b>注意</b> | この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
|   | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。       |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。    |

## 設置について

# 警告

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>■不安定な場所に置かない！</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p> | <p>■電源コード上に重い物を乗せない！</p> <p> 本機の下敷にならないよう注意してください。</p> <p><b>禁止</b> コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。</p> | <p>■水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p><b>水場使用禁止</b></p> |
|--|--|--|

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 異常時の処理について

## 警告

■本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると感電・事故をおこすおそれがあります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

■煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

## 使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

■水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等をはずさない！



分解禁止

感電の原因となります。  
点検・整備・修理は販売店にご相談ください。

■機器がぬれたり、水が入らないようにする！



禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。  
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 警告

### 使用方法について

#### ■電源コードを

- 加工しない!
- 傷つけない!
- 無理に曲げない!
- ねじらない!
- 引っ張らない!
- 加熱しない!



火災・感電の原因となります。

禁止

#### ■表示された電源電圧 以外は使用しない!



火災・感電のおそれがあります。

禁止

#### ■指定のカバー以外は はずさない!



感電の原因となります。  
点検・整備・修理は  
販売店にご依頼ください。

分解禁止

### 設置について

## 注意

#### ■電源コードを熱器具に 近づけない!



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

#### ■油煙や湯気が当たる 場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

#### ■湿気やほこりの多い 場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

#### ■ぬれた手でプラグを 抜き差ししない!



感電の原因となります。

禁止

#### ■プラグを抜く時は、電源 コードを引っ張らない!



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

#### ■本機の通風孔をふさが ない!



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
次のような使い方はしないでください。  
●本機を風通しの悪い所に押し込む。  
●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

禁止

#### ■電源コードや接続コード を下にたらしさない!



ふれたり、引っかいたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。

禁止

#### ■持ち上げや移動には十分 注意する!



落としたりすると、けがの原因となります。  
10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど慎重に取り扱ってください。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 注意

### お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

### 使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！



バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

禁止

■本機に乗らない！



倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。

禁止

■カセットテープ挿入口に手をはさまれないように注意する！



けがの原因となります。

指に注意

■長時間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●ビデオカセットは、取り出しておいてください。

# 概要

---

本機は、1/4インチ幅のテープを採用したデジタルVTRです。

デジタル圧縮技術を採用しておりますので、従来のアナログ方式と比べて、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなります。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっておりますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップの各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行い、編集機能は、アSEMBル・インサート両編集が行えます。

## 特長

### 小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウンウトアダプタ（オプション、AJ-MA75P）を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

### 最大126分記録

使用するカセットテープはMカセット（最大66分用）とLカセット（最大126分用）です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

### 民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープはカセットアダプタ（オプション、AJ-CS750P）を使用すると、本機で再生できます。

#### <ノート>

- 民生用カセットテープのスロー再生はできません。
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。

### デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、以下の速度のスロー再生画像は、クリアな再生が行えます。

-0.43/-0.3/-0.2/-0.1/-0.03/0/+0.03/+0.1/+0.2/+0.3/+0.5/+0.75

#### <ノート>

スローモーションのスピードを変えた時には多少のノイズが発生することがあります。

### ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大60倍速までカラー画像で再生が可能。

### タイムコード

本機はTCG（タイムコードジェネレータ）/TCR（タイムコードリーダー）を内蔵しています。タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、LTCとして本機に記録することが可能です。



---

## 特長 (つづき)

### 多機能な入出力インターフェース

- **アナログ入出力**

コンポーネント (Y、PB、PR) とコンポジットの入出力端子を装備しています。

- **シリアル・デジタル入出力**

コンポーネントシリアルインターフェースボード (オプション、AJ-YA750P) を使用しますと、シリアルデジタル (SMPTE 259M-C、272M) のデジタルコンポーネントインターフェースが行えます。

- **AES/EBUオーディオ入出力**

デジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

- **9ピン (RS-422A) / (RS-232C、オプション) リモート**

標準的な9ピンシリアル (RS-422A) の他、RS-232C (オプション)、25ピンパラレルの各端子を備えています。

RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

### 2チャンネルの高音質デジタルオーディオ

2チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

### 自動編集機能

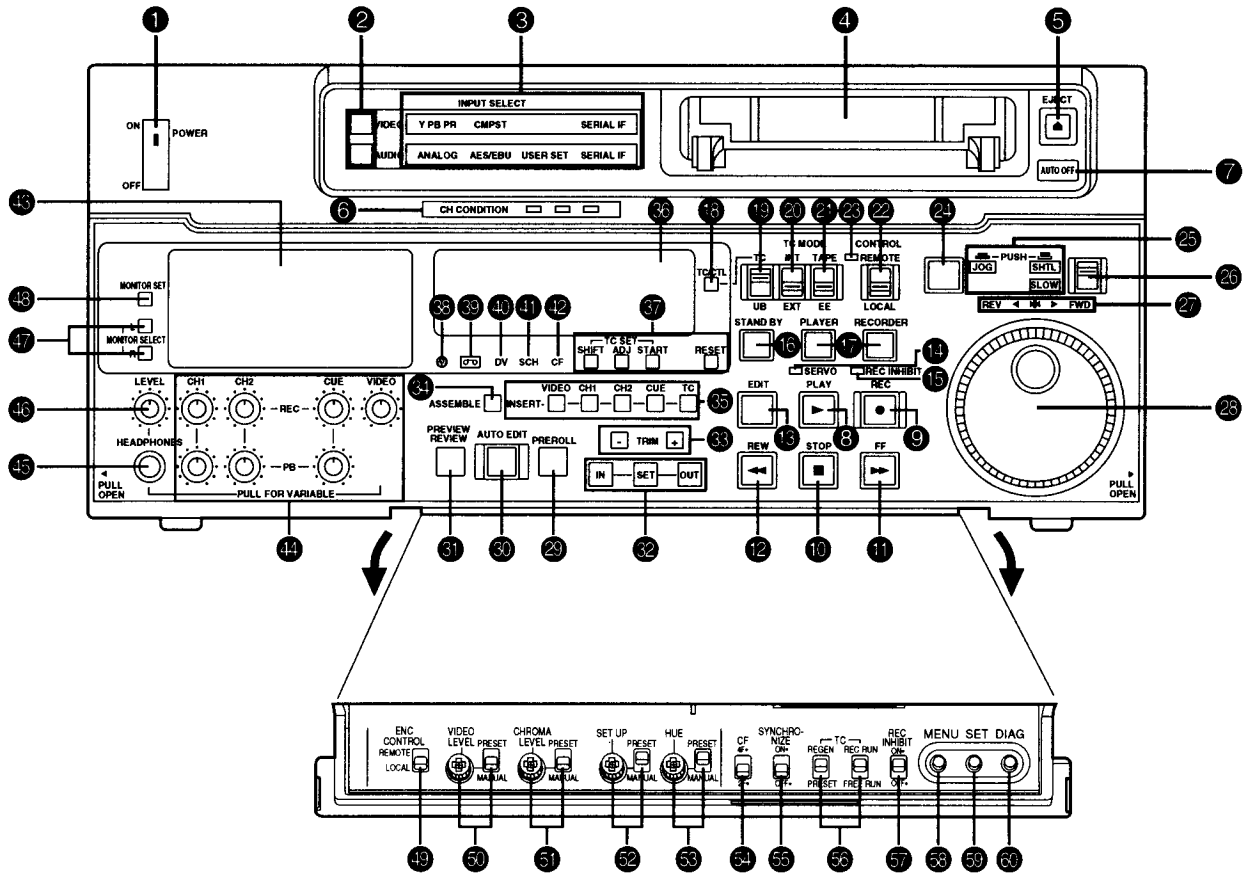
アセンブル、インサートの両編集が行えます。

### メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

# 各部の名称と機能

## フロントパネル



## フロントパネル上部

### ① POWER スイッチ

ON側を押すと電源が入り、オーディオレベルメータ、ビデオレベルメータ、カウンター表示部、INPUT SELECT表示部が点灯します。

### ② INPUT SELECTスイッチ

ビデオとオーディオの入力信号を切替えます。

#### <ビデオ>

VIDEOボタンを押すごとに、入力ビデオ信号が、Y/PB/PR、COMPOSITE、SERIAL IF、Y/PB/PR、・・・の順に切替わり、選択されます。

#### <オーディオ>

AUDIOボタンを押すごとに、入力オーディオ信号が、ANALOG、AES/EBU、USER SET、SERIAL IF、ANALOG、・・・の順に切替わり、選択されます。USER SETは、PCMオーディオ信号のCH1/CH2に記録する入力信号を個別に選択する機能であり、セットアップメニューと併用して使用します。例えば、INPUT SELECTでUSER SETを選択し、セットアップメニューNo.710 (CH1 IN SEL)、No.711 (CH2 IN SEL)、No.712 (DIG IN SEL) でCH1=ANALOG、CH2=DIGIを選択すれば、テープ上に記録されるPCMオーディオ信号CH1にはアナログ入力信号が、CH2にはデジタルの入力信号 (AES/EBUまたはSERIAL IF) が記録されます。

### ③ INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。

#### <ビデオ>

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号

CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号

SERIAL IF : シリアル・コンポーネントデジタル・ビデオ信号 (SMPTE 259M-C, 272M)  
(オプション)

#### <オーディオ>

ANALOG : アナログ・オーディオ信号

AES/EBU : デジタル・オーディオ信号

USER SET : 記録オーディオ信号の選択

SERIAL IF : シリアル・デジタル・オーディオ信号 (SMPTE 259M-C, 272M) (オプション)

アナログオーディオを除き、選択した端子に入力信号がない場合は文字部が点滅します。

また、セットアップメニューNo.601 (INT BB SIG)でBBを選択した場合、ビデオの文字部すべてが点灯します。

### ④ カセット挿入口

Mカセット、Lカセット、およびアダプタ付きの民生用カセット (Sカセット) の挿入口です。民生用カセットは、再生のみが可能です。

### ⑤ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。

カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。

EJECTを受けつけるとランプが点灯します。

### ⑥ チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑→アンバー→赤)

緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。

アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。  
このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。

### ⑦ AUTO OFFランプ

本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

---

---

## フロントパネル中央

### ⑧ PLAYボタン

押すと再生が始まります。

RECボタンと同時に押すと記録が、PLAY中にEDITボタンと同時に押すと手動編集が始まります。

手動編集中にPLAYボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。

### ⑨ RECボタン

このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。

再生、サーチ\*<sup>1</sup>、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。

ストップモード中にこのボタンを押すと、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。

STOPボタンを押すと、元の画像・音声にもどります。

### ⑩ STOPボタン

押すとテープ走行が停止し、TAPE/EE切換スイッチが「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。

ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。

ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。

本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

### ⑪ FFボタン\*<sup>2</sup>

押すと、テープを早送りします。

### ⑫ REWボタン\*<sup>2</sup>

押すと、テープを巻き戻します。

### ⑬ EDITボタン

手動編集をする時、PLAY中にこのボタンとPLAYボタンとを同時に押します。

ストップモード中にこのボタンを押すと、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。

STOPボタンを押すと、元の画像・音声にもどります。

再生、サーチ\*<sup>1</sup>、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。

### ⑭ SERVOランプ

ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。

### ⑮ REC INHIBITランプ

フロント下部のREC INHIBITスイッチが「ON」か、カセットが誤消去防止状態になっている時に点灯します。

この時には、記録および編集はできません。

\*<sup>1</sup> 1倍速未満のテープスピードでのオーディオのE-Eモードは保障しません。

\*<sup>2</sup> 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102 (FF, REW MAX) で選択ができます。

## フロントパネル中央

### ⑯ STAND BYボタン

通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。

スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。

また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。

スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。

スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。

### ⑰ PLAYER/RECORDERボタン

本機とRS-422Aシリアルインターフェースのリモコン端子（9ピン）を装備したVTRを使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。

**PLAYERボタン** : 押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。

**RECORDERボタン** : 押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ（本機）に対して働くようになります。

### ⑱ TC/CTLスイッチ

このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC→CTL→TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。

### ⑲ TC/UBスイッチ

TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。

### ⑳ INT/EXTスイッチ

**INT** : 内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。

**EXT** : タイムコード入力端子もしくは映像信号のVITCより入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で設定します。

### ㉑ TAPE/EEスイッチ

<STOP時>

**TAPE** : テープから再生される信号を出力します。

**EE** : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

<記録/編集\*時>

**TAPE** : 同時再生信号を出力します。

**EE** : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

\*セットアップメニューNo. 308 (CONFI EDIT) の設定が必要です。

---

---

## フロントパネル中央

### 22 REMOTE/LOCALスイッチ

REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切替えます。

**REMOTE** : 9ピンのREMOTE もしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。

**LOCAL** : 本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。

### 23 REMOTEランプ

REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。

### 24 サーチボタン

押すとサーチモードになります。

サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。

### 25 JOG/SHTL/SLOWランプ

サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。

**JOG (ジョグ)** : JOG モード時に点灯します。

**SHTL (シャトル)** : SHTLモード時に点灯します。

**SLOW (スロー)** : VARモード時に点灯します。

### 26 SHTL/SLOW スイッチ

サーチダイヤルをSHTL用、もしくはVAR用として用いる時の選択スイッチです。

### 27 REV/STILL/FWDランプ

サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。

**REV** : ダイアルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。

**STILL** : JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。  
SHTL モード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。

**FWD** : ダイアルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。

### 28 サーチダイヤル

編集点を探すためのダイヤルです。

ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。

POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。

**SHTLモード (シャトル)** : SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止めると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。

SHTL/SLOW スイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと-4倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと+4倍速になります。SLOWの最大速度はセットアップメニューNo. 317 (VAR FWD MAX)、No. 318 (VAR REV MAX) で選択できます。

**JOGモード (ジョグ)** : ダイアルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度で再生します。セットアップメニューNo. 320 (JOG FWD MAX)、No. 321 (JOG REV MAX) の設定により最大速度を切替えることができます。

---

---

## フロントパネル中央

### ㉔ PREROLL ボタン

送出や手動編集の頭出しに使用します。

押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。

プリロール時間は、セットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定できます。

INまたはOUTボタンと同時に押すと、その登録点にキューアップすることができます。

IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動登録します。(ただしセットアップメニューNo. 311 (AUTO ENTRY) を「ENA」にした場合)

### ㉕ AUTO EDIT ボタン

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。

IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。

### ㉖ PREVIEW/REVIEWボタン

**PREVIEW** : 編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにリハーサルができます。

IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。

**REVIEW** : 1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダ側のモニターで見ることができます。

### ㉗ IN/SET/OUTボタン

SETボタンと同時に押し、IN/OUT点を登録します。

IN/OUT点が登録されている時には、登録されているINボタン、もしくはOUTボタンが点灯します。

登録した後にこのボタンを押すと、IN/OUT点の値がカウンタ表示部に表示されます。

IN/OUTボタンとRESETボタンを同時に押すと、IN/OUT点の登録が削除できます。

### ㉘ TRIMボタン

IN/OUT点の微修正用のボタンです。

INボタンまたはOUTボタンを押しながら、+または-ボタンを押すと、登録した編集点を1フレーム単位で修正できます。+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。

### ㉙ ASSEMBLEボタン

アSEMBル編集をする時に押します。

ボタンは自照式で、一度押すとON (点灯)、もう一度押すとOFF (消灯) になります。

### ㉚ INSERTボタン

インサート編集をする時、5つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。ボタンは自照式で、一度押すとON (点灯)、もう一度押すとOFF (消灯) になります。

### ㉛ カウンタ表示部

TC、CTLのカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。

---

---

## フロントパネル中央

### ③7 タイムコードボタン

TC/UBの値を設定する時に使用します。

**SHIFT** : TCやUBの値を設定する時には、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。

表示が点滅している桁を変更します。

一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右に移動し、一番右桁までいくと一番左の桁までもどります。

押し続けると、次々に移動します。

**ADJ** : 表示が点滅している桁の数字を変更します。

一度押すたびに数値が1つずつ増加し、押し続けると次々に増加します。

**START** : SHIFT/ADJで変更されたデータを確定します。

またTC、UBの設定をしていない時に押すと、TCGまたはUBGの設定値を確認できます。

**RESET** : CTLモード時は、ボタンを押すと表示が[00:00:00:00]になります。

また、CTLモード時には、登録されている編集点は消去されます。

TC/UBモード時は、SHIFTボタンとの同時押しで、ジェネレータをリセットします。

### ③8 ワーニングランプ

ワーニング項目がある時に点灯します。

### ③9 カセット挿入表示ランプ

本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。

### ④0 民生カセット挿入表示ランプ

民生用DVの機器で記録されたカセットが挿入されている時に点灯します。

### ④1 SCH ランプ

外部同期信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。

### ④2 CFランプ

カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。

### ④3 レベルメーター

PCMオーディオ信号のCH1/CH2、CUEトラック信号、およびビデオ信号の各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には、入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。

ビデオ信号は、入力信号レベルのみ表示します。

### ④4 入出力レベルの調整ボリューム

PCMオーディオ信号CH1/CH2とCUEトラック信号の各記録および再生レベルと、コンポジットビデオ信号の記録レベルを調整するボリュームです。

上段に配置されている各ボリュームが記録レベルの調整用ボリュームです。

下段に配置されている各ボリュームが再生レベルの調整用ボリュームです。

各ボリュームは“PULL FOR VARIABLE”形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値（初期値）になります。



---

## フロントパネル中央

### ④5 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

### ④6 音量調整ボリューム

ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。

ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニュー No.708 (MONI OUT) で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。) 分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。

### ④7 MONITOR SELECTスイッチ

モニターL/Rに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。

「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CUE、CH1、・・・と切換えます。

また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CUE、CH1、・・・と切換えます。

今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。(セットアップメニューNo. 713 (MONI CH SEL) がAUTOの時は、モニター出力に合わせて表示が切替わります。)

### ④8 MONITOR SETボタン

モニターL/RにMIX信号を出力する時に使用します。

MONITOR SETとLまたはRボタンを同時に押すと、モニターLまたはRにCH1とCH2のMIX信号を出力することができます。再度両ボタンを同時に押すと、MIXが解除されます。

---

---

## フロントパネル下部

### 50 ENCODER CONTROLスイッチ

ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダーリモートコントローラから行うかの切換えスイッチです。

**REMOTE** : 外部のエンコーダーリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。

**LOCAL** : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。

### 51 VIDEO LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、ビデオレベルの調整ができます。

スイッチが「PRESET」の時には、ビデオレベルはユニティ値 (0dB) になります。

スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでビデオレベルの調整ができます。

### 52 CHROMA LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、クロマレベルの調整ができます。

スイッチが「PRESET」の時には、クロマレベルはユニティ値 (0dB) になります。

スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでクロマレベルの調整ができます。

### 53 SET UP調整ボリュームとスイッチ (コンポジット出力のみ可変)

ENCODER CONTROLスイッチが「LOCAL」の時、セットアップレベルの調整ができます。

スイッチが「PRESET」の時には、セットアップレベルはユニティ値 (0 IRE) になります。

スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでセットアップレベルの調整ができます。

### 54 HUE調整ボリュームとスイッチ (コンポジット出力のみ可変)

ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、ヒューの調整ができます。

スイッチが「PRESET」の時には、ヒューはユニティ値 (0°) になります。

スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでヒューの調整ができます。

### 55 CFスイッチ

再生フレーミングのロックを4フィールド単位で行うか、2フィールド単位で行うかを切換えます。

**4F** : フレーミングのロックを4フィールド単位で行います。

**2F** : フレーミングのロックを2フィールド単位で行います。

### 56 SYNCHRONIZEスイッチ

2台のデッキ間で調相をするかしないかの選択スイッチです。

**ON** : 調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。

**OFF** : 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが、編集に素早く入ります。

### 57 TCジェネレータ・スイッチ

**REGEN** : REGEN/PRESETスイッチを「REGEN」にした時は、タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレータが同期します。TC/UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo. 503 (TCG REGEN) で選択します。

**PRESET** : REGEN/PRESETスイッチを「PRESET」にした時は、操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットが可能になります。

**REC RUN** : RUN MODEスイッチを「REC」にした時には、記録中だけタイムコードが歩進します。上記のREGEN/PRESETが「REGEN」の時、常時タイムコードは歩進します。

**FREE RUN** : RUN MODEスイッチを「FREE」にした時は、電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

---

## フロントパネル下部

### 57 REC INHIBIT スイッチ

カセットテープへの記録の禁止／許可を選択します。

ON : カセットテープへの記録を禁止します。

この時、フロントパネル上のREC INHIBITランプが点灯します。

OFF : カセットの誤消去防止機構が記録可の時に、カセットテープへの記録が可能です。

### 58 MENUボタン

このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを（ただし、VIDEO OUT 3端子を使用している時）、本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### 59 SETボタン

このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。

データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### 60 DIAGボタン

このボタンを押すとVTRの情報を表示します。

再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。

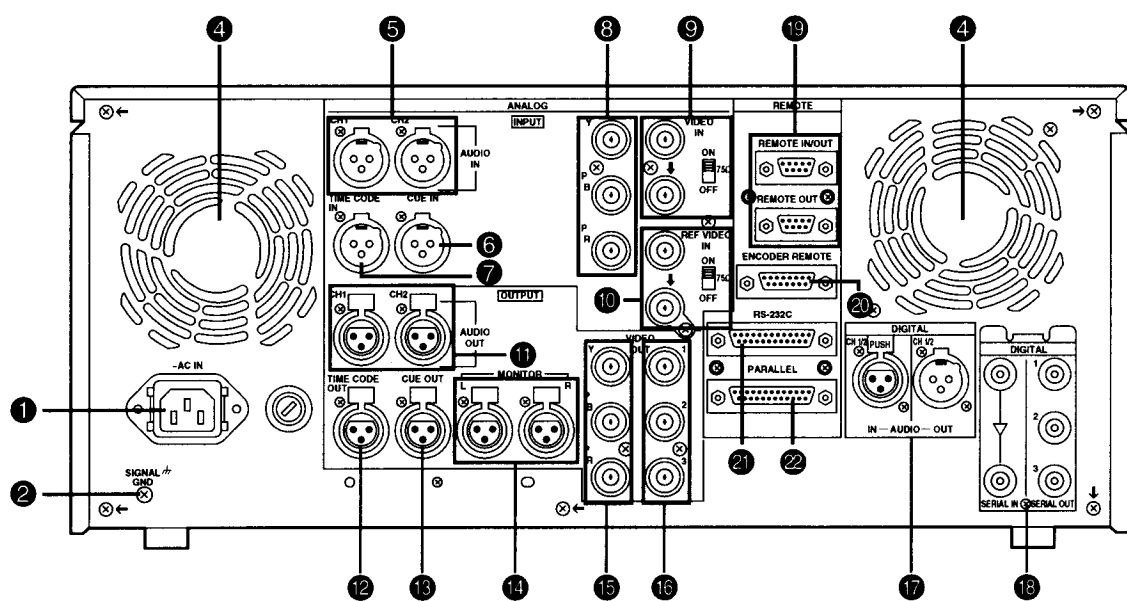
VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。

これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面では通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

# コネクタ部



---

## コネクタ部

- ① **AC IN コネクタ**  
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② **SIGNAL GND 端子**  
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ **ヒューズホルダ**  
5Aのヒューズが入っています。
- ④ **ファンモータ**  
本機の冷却用のファンモータです。  
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。  
ワーニングの状態で継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ **ANALOG AUDIO IN端子**  
アナログオーディオの入力端子です。
- ⑥ **CUE IN端子**  
CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。  
セットアップメニューNo.702 (CUE IN LV) で-60dB入力モードを選択することにより、マイクからの音声信号の記録もできます。
- ⑦ **TIME CODE IN端子**  
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。
- ⑧ **ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子**  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。
- ⑨ **ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ**  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。  
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑩ **REF VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ**  
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑪ **ANALOG AUDIO OUT端子**  
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑫ **TIME CODE OUT端子**  
再生時は再生タイムコードを出力します。  
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
- ⑬ **CUE OUT端子**  
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。

---

---

## コネクタ部

### ⑭ MONITOR OUT端子

再生時には、PCMオーディオ信号CH1/CH2、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。

### ⑮ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子

アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。

### ⑯ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。

VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。

スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo. 006 (SUPER) で選択します。

### ⑰ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子

AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

### ⑱ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子

(オプション、AJ-YA750Pが必要)

SMPTE259M-C, 272M規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。

### ⑲ リモートコントロール端子

本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。

リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。

**IN/OUT** : 外部コントローラと接続

デッキ対デッキ操作時に接続

**OUT** : パララン操作時に接続

ループスルーとして使用

### ⑳ ENCODER REMOTE端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダーリモートコントローラを接続します。

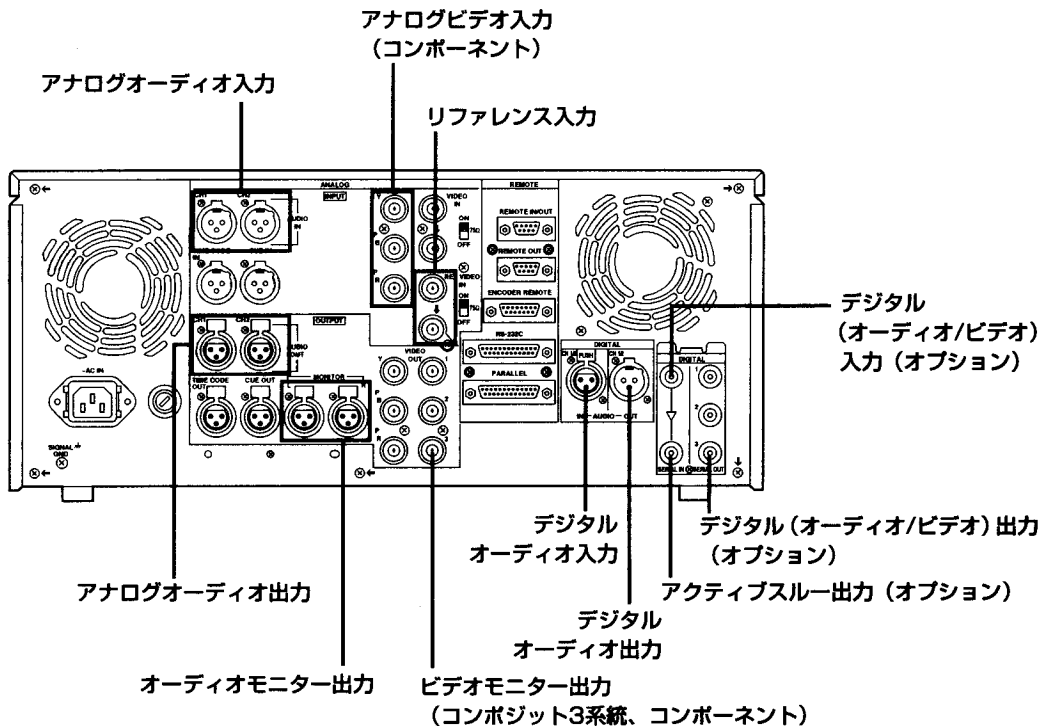
### ㉑ RS-232C端子 (オプション)

### ㉒ PARALLEL REMOTE端子

本機を外部から操作する時に使用します。

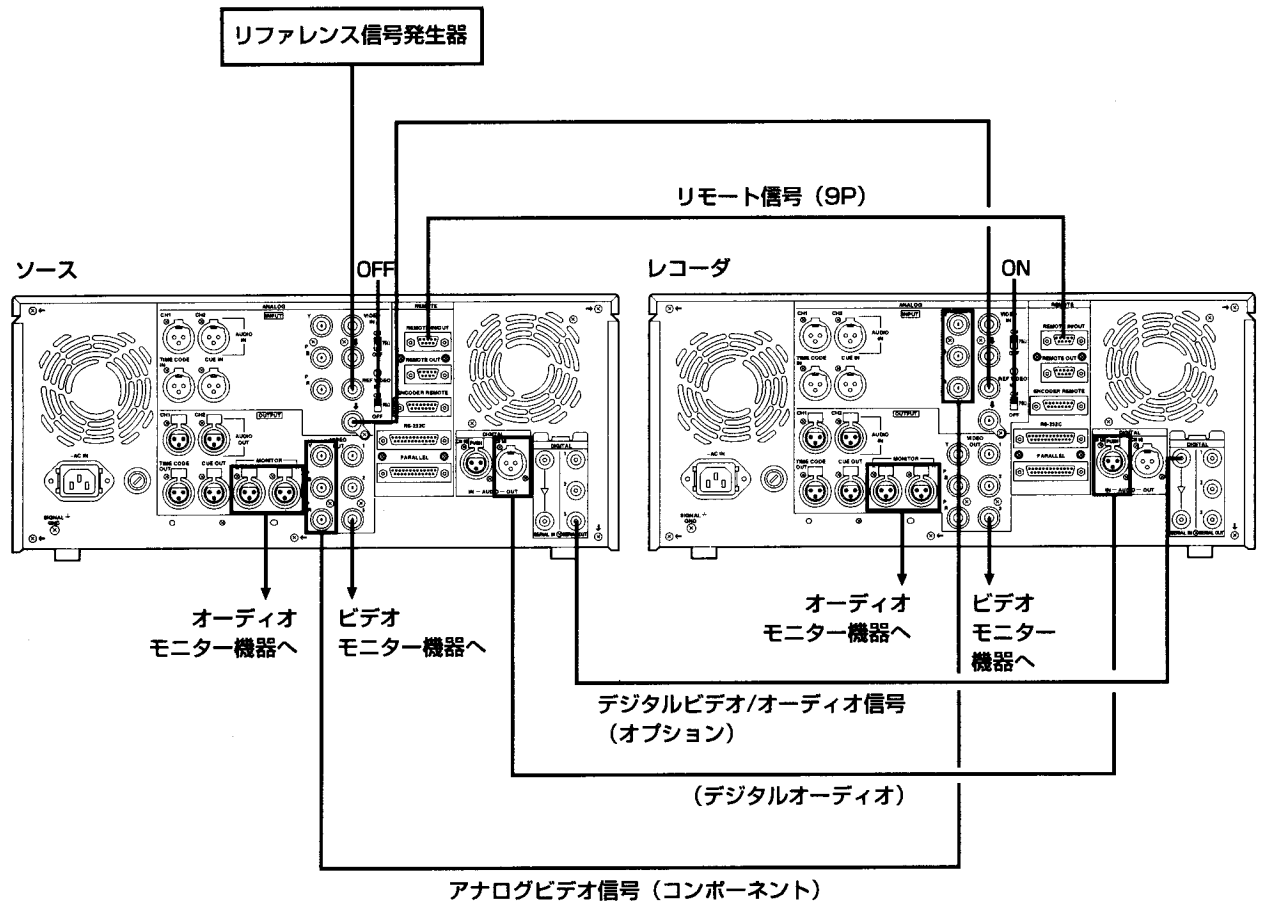
# 1台での接続

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



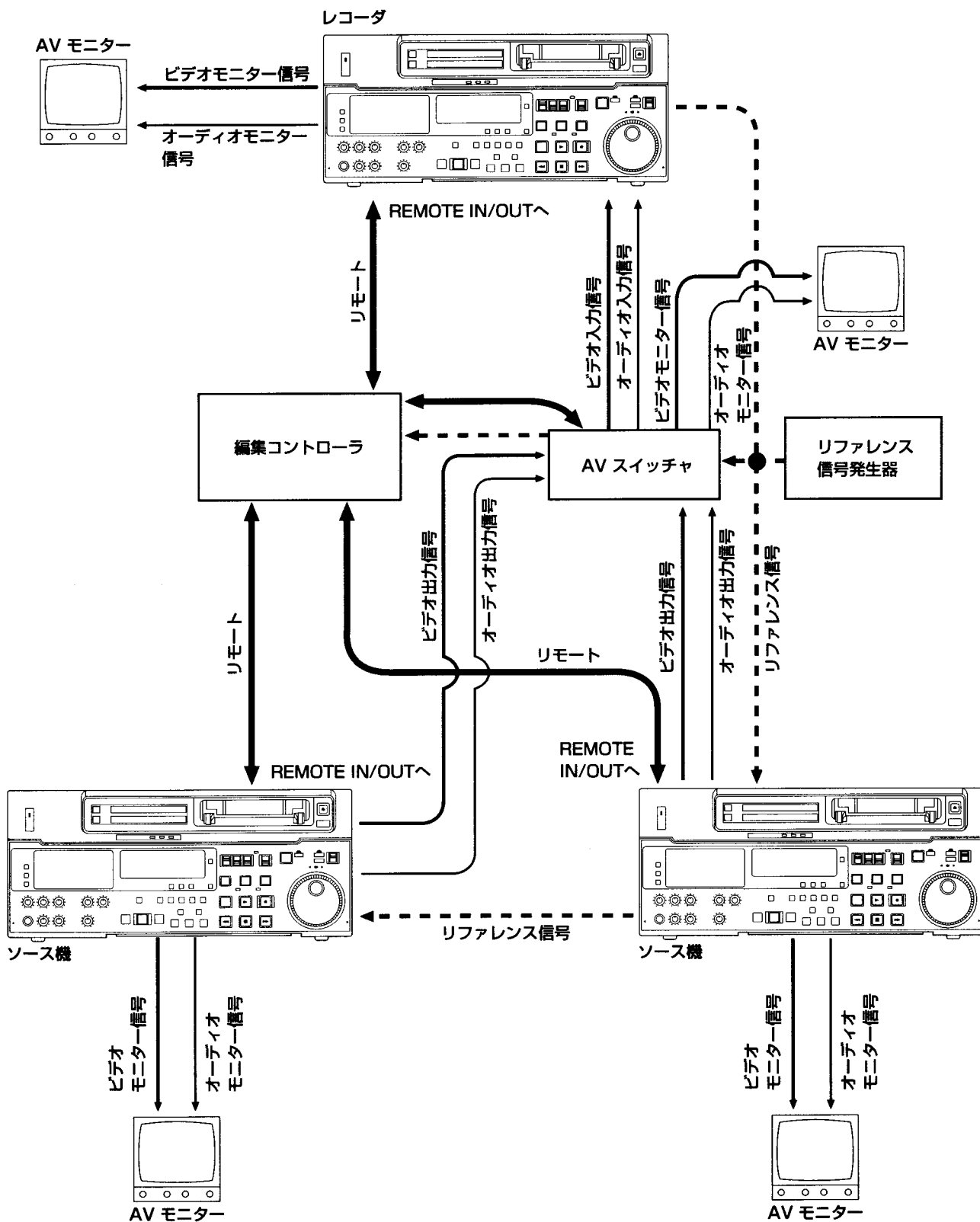
## 2台での接続例 (デッキ対デッキ)

- ソース側      • フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。  
レコーダ側    • フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。





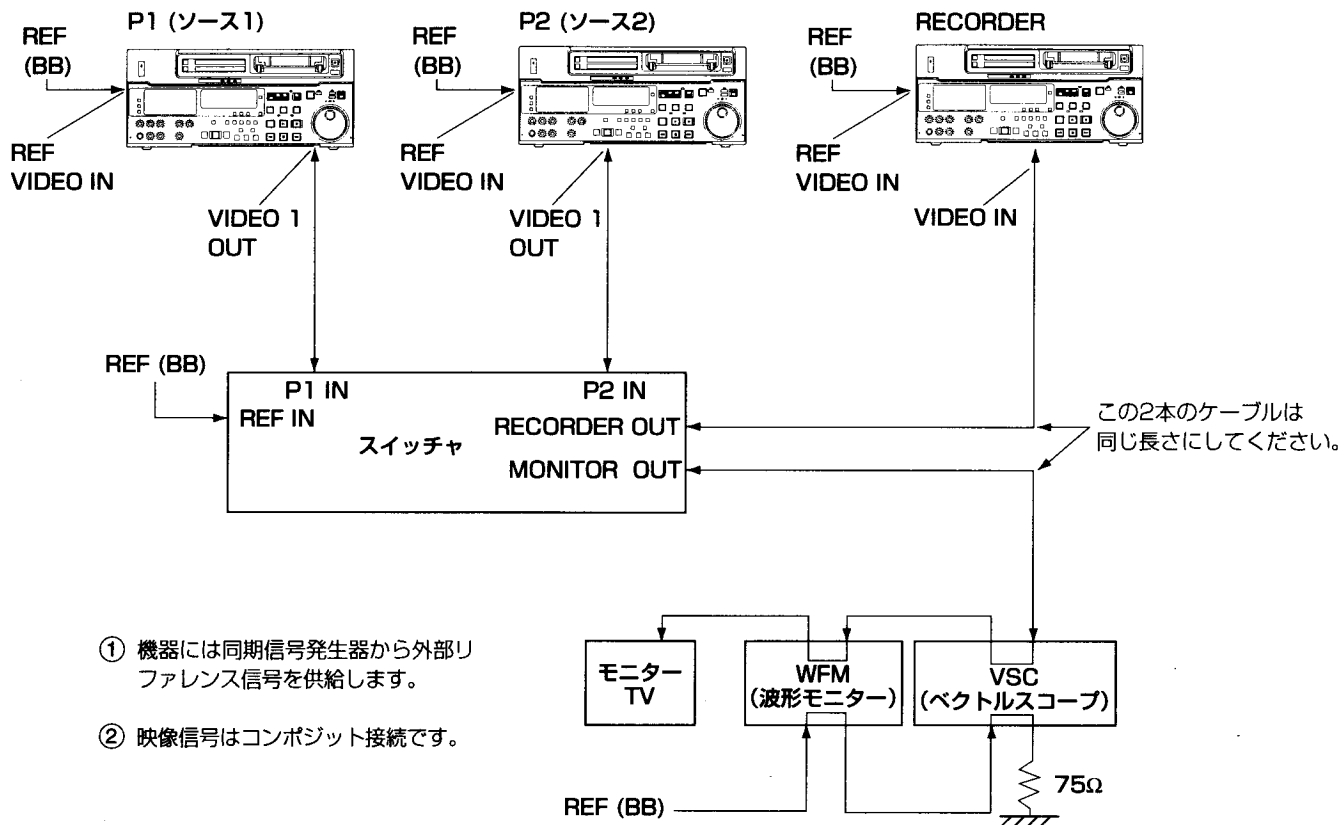
# 編集コントローラとの接続例



**<ノート>**

CMX社製の編集コントローラにつきましては、編集コントローラ側の対応が必要です。

# ビデオ出力信号（エンコーダ出力）の調整のための接続

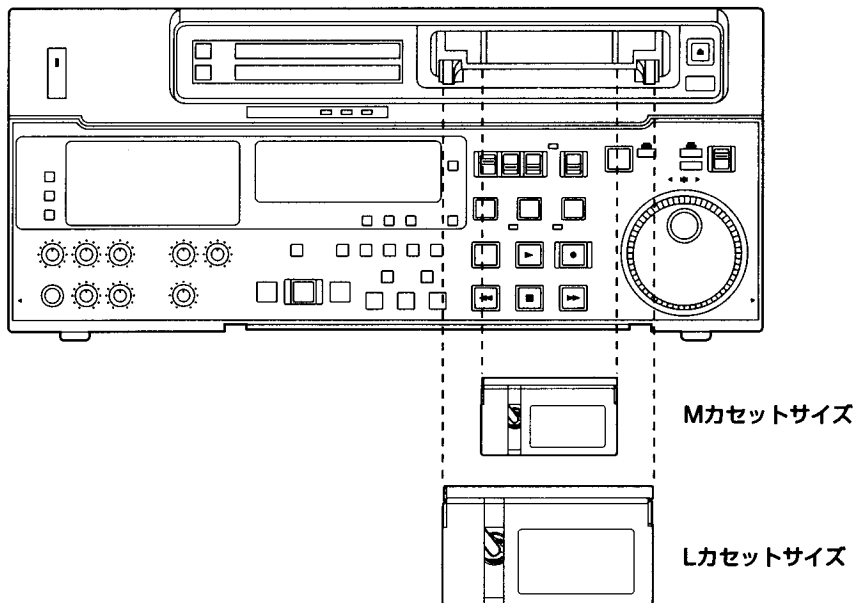


- ① 機器には同期信号発生器から外部リファレンス信号を供給します。
- ② 映像信号はコンポジット接続です。

# テープ

| タイプ                | 内容  |
|--------------------|---|
| 民生用カセット<br>(Sカセット) | 民生用カメラレコーダ専用テープです。<br>カセットアダプタ（別売品）を使用すれば、再生のみできます。ただし、長時間用カセットテープ（標準モード80分/LPモード120分）は使用できませんのでご注意ください。<br><b>なお、テープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。</b><br>「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと故障の原因となりますのでご注意ください。」 |
| Mカセット              | 最大66分の記録・再生テープ<br>(AJ-P12MP、AJ-P24MP、AJ-P33MP、AJ-P46MP、AJ-P66MP)  |
| Lカセット              | 最大126分の記録・再生テープ<br>(AJ-P34LP、AJ-P66LP、AJ-P94LP、AJ-P126LP)   |

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。  
カセットテープは自動的にローディングされます。



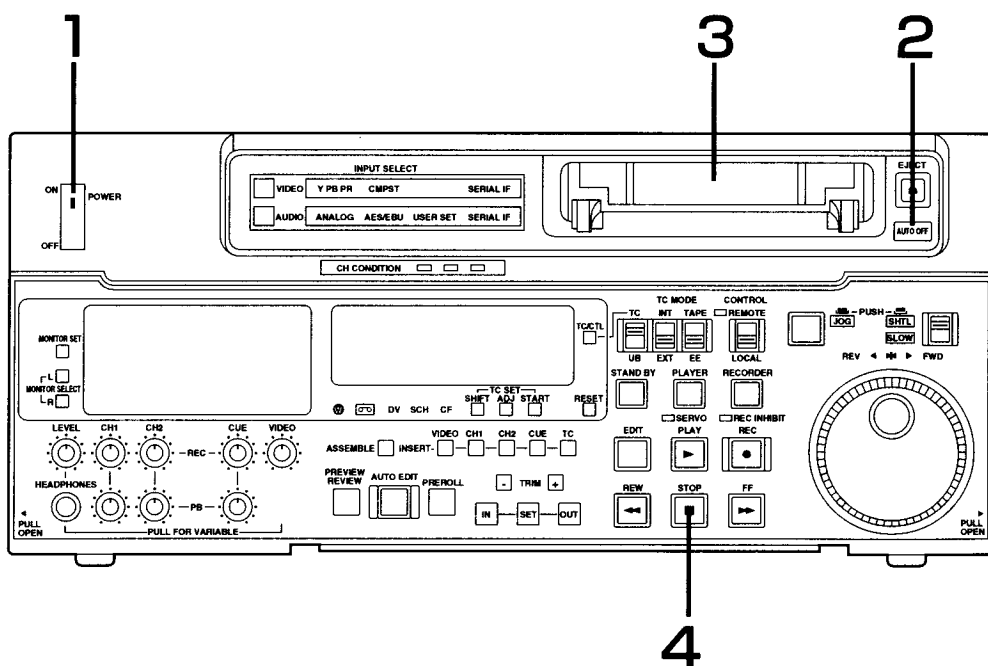
## 〈民生DVテープの再生時のご注意〉

- 民生テープは再生のみご使用できます。
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。
- 民生テープに記録された素材を編集する時には、DVCPROのテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- 民生テープへの記録はできませんので、記録に関する機能、REC動作、編集の選択と実行、TAPE/EE切換え等の動作は禁止しています。
- 民生テープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生テープでの最大スチル時間は10秒に設定しています。
- 民生テープのスローモーション再生はできません。
- テープ保護の観点から、民生テープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようにお願いします。
- 民生テープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、また、STILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。

# 電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。  
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。  
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。  
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。  
EJECTランプは消灯します。

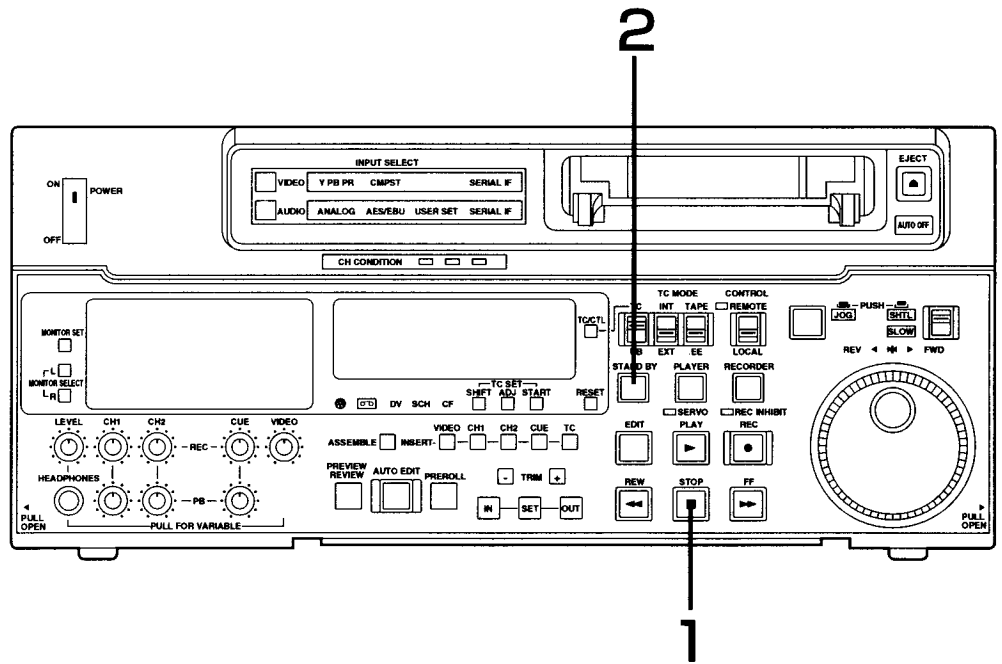


# STOP/STANDBYモード

- 1** STOPボタンを押すと、STOPモードになります。  
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
  - テープ保護のため、セットアップメニューNo.400 (STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。  
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2** STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。  
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。  
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。  
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

## 〈STILL TIMER設定のご注意〉

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。



- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 TAPE/EEスイッチを「EE」にします。  
モニターテレビにE-E画像が出ます。
- 4 REC INHIBITランプの消灯を確認します。  
ランプが点灯しているときは REC INHIBITスイッチを「OFF」にします。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
  - 5-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
    - 1 記録する信号を接続します。
    - 2 フロントパネルのINPUT SELECTスイッチで入力信号を選択します。  
点灯している入力信号が選択されています。
  - 5-2 ビデオレベル調整
    - 1 通常はビデオ入力レベルの調整ボリューム $\text{Ⓔ}$ を押し込んだままにしておきます。  
(ユニティ値)  
ビデオ信号は適正なレベルで記録されます。
    - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリュームを引き出し、調整ボリュームで+3dB~-3dBの範囲で調整します。
  - 5-3 オーディオレベル調整
    - 1 アナログオーディオ CH1/CH2とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。  
通常はオーディオ入出力レベルの調整ボリューム $\text{Ⓕ}$ を押し込んだままにしておきます。(ユニティ値)  
オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
    - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリュームを引出し、アナログキューは-20dBを超えない範囲に調整します。
- 6 RECボタンを押しながら、PLAYボタンを押します。  
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 7 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。  
記録が終了し、停止モードになります。

## <ノート>

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- ビデオはアナログコンポジット入力のみ調整できます。(デジタルビデオ入力とアナログコンポジット入力は調整できません。)
- 記録する音声と映像は再生画像に対して5フレームずれて記録されます。  
例えば、再生画像を見ながらあるタイミングで音声を記録する時は、再生画像に対して記録する音声は5フレームずれた位置に記録されます。

# 再生

---

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。  
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。  
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。  
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。  
VTRはSTOPモードになります。

## <ノート>

- 再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

# ジョグ/シャトル

---

## ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。  
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。  
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピードで再生します。セットアップメニューNo. 320 (JOG FWD MAX)、No. 321 (JOG REV MAX) の設定により最大速度を切換えることができます。  
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

## シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。  
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
  - 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。  
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0 ~±60倍速まで変化します。(セットアップメニューNo. 101 (SHTL MAX) で±16、±32、±60倍速に切換可能です。)  
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが-4~+4倍速まで変化します。(セットアップメニューNo. 317 (VAR FWD MAX)、No. 318 (VAR REV MAX) の設定により最大速度を切換えることができます。ただし、-0.43~+1倍速以外はノイズが出ます。)  
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

### <ノート>

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。  
ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。  
セットアップメニューNo.100 (SEARCH ENA) を「KEY」にします。



# 手動編集

---

- 1 編集モードを選択します。  
**ASSEMBLE**：アセンブル（つなぎとり）編集を行います。  
**INSERT**： インサート（挿入）編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 **PLAY**ボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置（IN点）を探し、IN点で、**PLAY**と**EDIT**ボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置（OUT点）で**STOP**または**PLAY**ボタンを押します。STOPモードになり編集が終了します。

## <ノート>

- 手動編集の場合は編集IN点とOUT点は登録されません。
- 記録する音声と映像は再生画像に対して5フレームずれて記録されます。  
例えば、再生画像を見ながらあるタイミングで音声を記録する時は、再生画像に対して記録する音声は5フレームずれた位置に記録されます。

# プリロール

---

- 1 PREROLLボタンを押します。  
VTRはプリロール動作を行います。
  - 編集IN点が登録されている場合は、セットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定された時間だけ編集IN点から巻戻されて止まります。
  - 編集IN点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定された時間だけ巻戻されて止まります。

## <ノート>

- 編集IN点とプリロール点の間にはタイムコードまたはCTLが連続して記録されてることが必要です。
- セットアップメニューNo.311 (AUTO ENTRY) により、IN点が登録されていない時にIN点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

## 自動編集 (デッキ対デッキ)

---

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

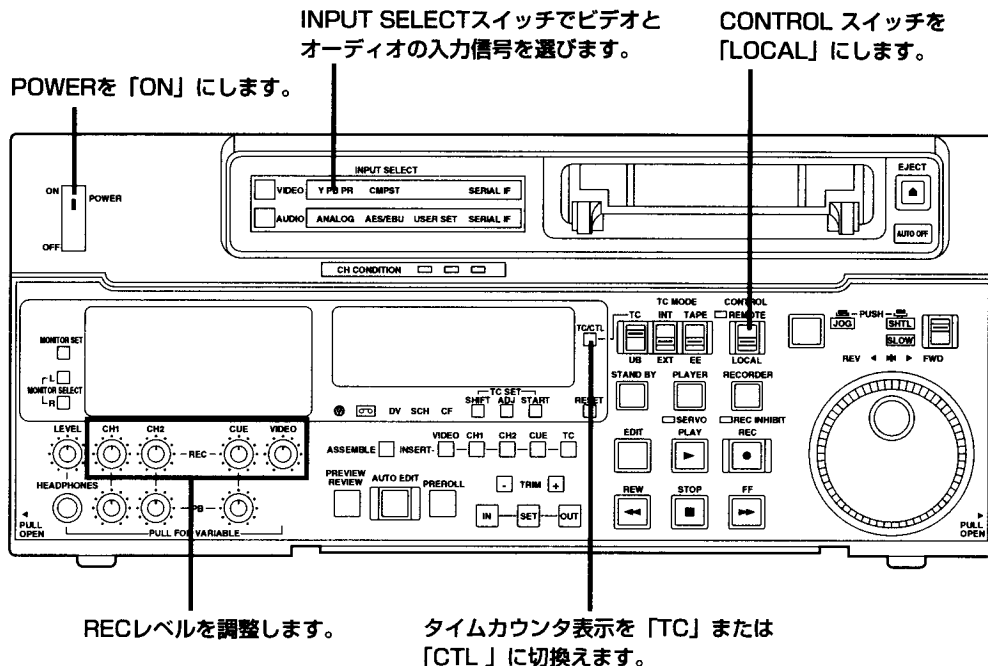
編集の基本的な操作は以下のとおりです。

- 1 CONTROLスイッチをプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」にします。
- 2 編集モードを選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認 (プレビュー) を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認 (レビュー) します。

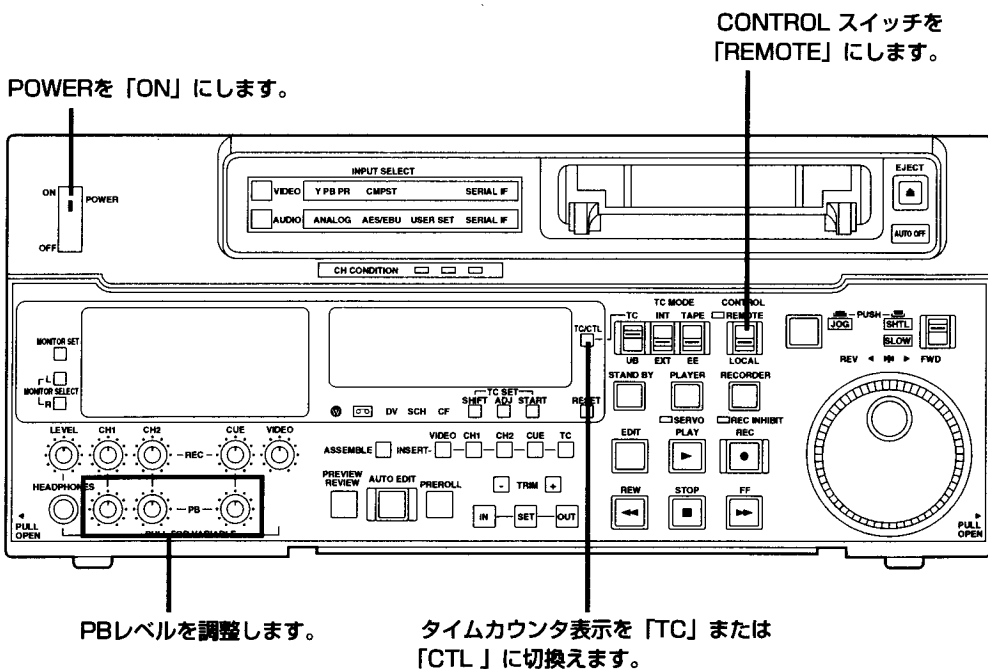
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## スイッチの設定と調整

### 本機をレコーダとして使用する場合

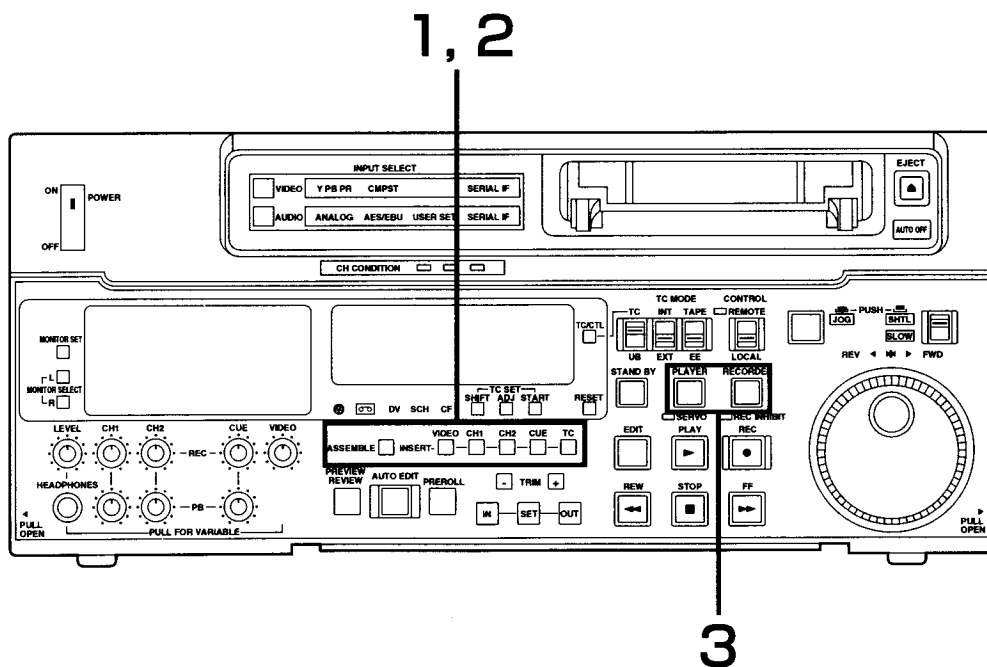


### 本機をプレーヤとして使用する場合



## 編集モードの選択

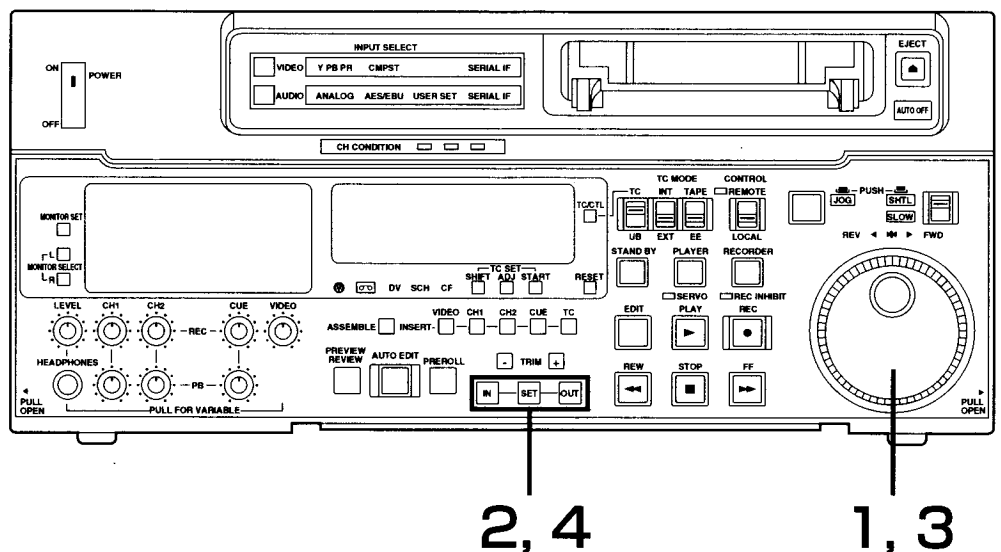
- 1 編集モードを選択します。  
アセンブル編集はASSEMBLEボタンを押します。  
インサート編集はINSERTボタンを押します。  
**ASSEMBLE:** アセンブル (つなぎとり) 編集モードになります。  
**INSERT:** インサート (挿入) 編集モードになります。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
アセンブル編集の場合はASSEMBLEランプが点灯します。  
インサート編集の場合は編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。
- 3 操作するVTRの選択 (VTR2台での編集時の設定)  
PLAYERまたはRECORDERボタンを押して操作を行うVTRを選択します。  
**PLAYER:** プレーヤー側VTRを操作して、編集点を登録する場合に押します。  
**RECORDER:** レコーダ側VTR (本機) を操作して、編集点を登録する場合に押します。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集IN点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 2 INとSET ボタンを同時に押します。  
編集IN点が登録されます。  
編集IN点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集OUT点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 4 OUT とSET ボタンを同時に押します。  
編集OUT点が登録されます。  
編集OUT点の値がディスプレイ部に表示されます。



### マッチフレーム処理機能について

VTR2台での編集操作の場合、編集点はプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点の合計4つの編集点があります。しかし、最後の一つは自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の三つだけ可能です。

### ネガティブデュレーション機能について

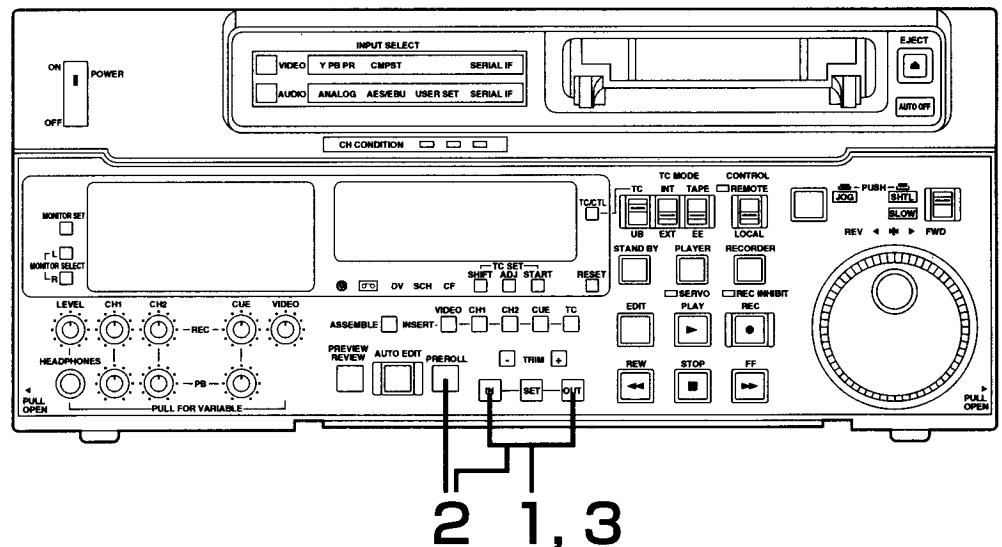
58ページのセットアップメニューNo.301 (IN/OUT DEL) とNo.302 (NEGA FLASH) を組み合わせてご使用ください。

## 編集点の確認

- 1 IN (またはOUT) ボタンを押して、編集点を確認します。  
登録されている編集点の値がディスプレイに出ます。
- 2 IN (またはOUT) ボタンを押しながら、PREROLLボタンを押し、編集点の画像を確認します。
  - 編集IN (またはOUT) 点にテープがキューアップされて、静止画になります。  
セットアップメニューNo. 313 (AFTER CUE-UP) が「STOP」に設定されている場合、TAPE/EEスイッチが「EE」のときはE-Eモードになります。
- 3 INとOUTボタンを同時に押して、編集区間 (デュレーションタイム) を確認します。  
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

### デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合 → 2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合 → 設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合 → 前回編集した区間のデュレーション



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の訂正

- 1** 編集点の再登録  
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN (またはOUT) とSETボタンを同時に押して再登録します。
- 2** フレーム単位での編集点の訂正 (トリム機能)  
IN (またはOUT) ボタンを押しながらTRIMボタンを押します。  
+ボタンを一回押すたびに、1フレーム進みます。  
-ボタンを一回押すたびに、1フレーム戻ります。
- 3** 編集点のリセット

### 3-1 編集INとOUT点両方のリセット

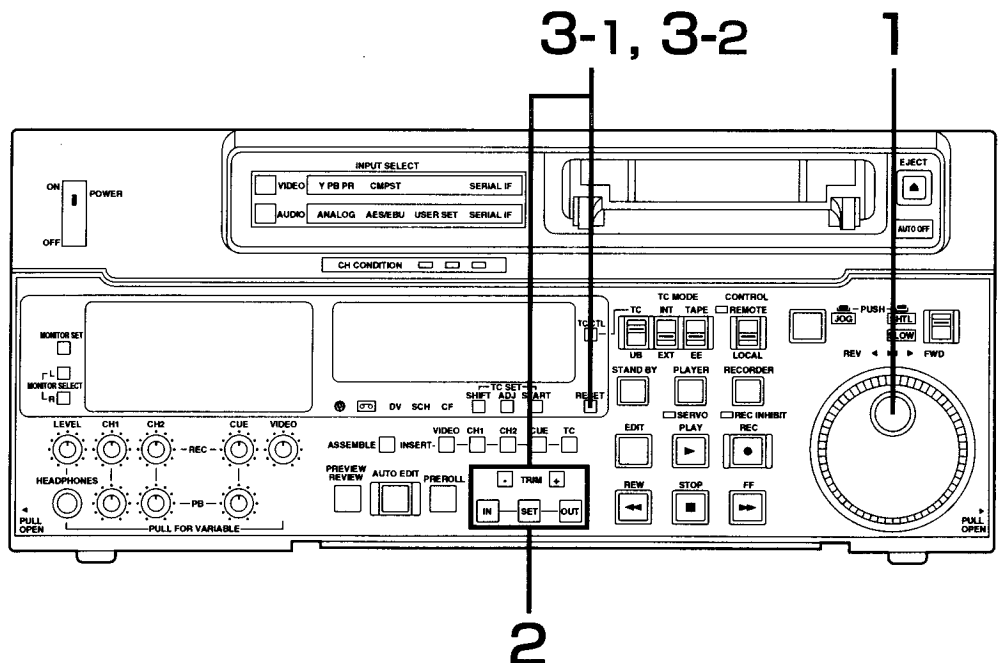
- RESETボタンを押します。

### 3-2 編集INまたはOUT点のどちらか片方のリセット

- IN (またはOUT) ボタンを押しながらRESETボタンを押します。

#### <ノート>

- 編集点のリセット3-1はCTLモード時のみ有効です。
- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時はINおよびOUT点は自動的にリセットされます。



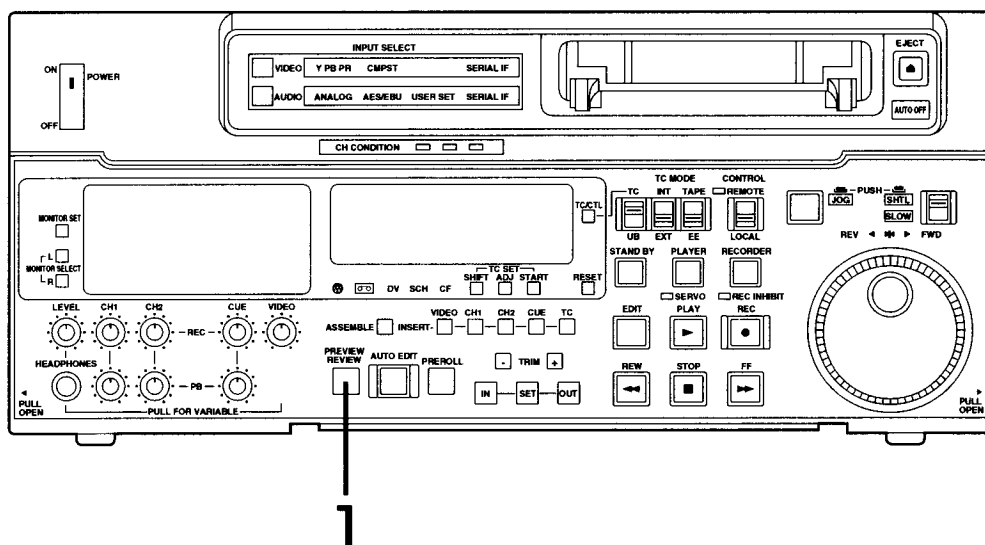


## プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。  
通常のプレビューが実行されます。

### <ノート>

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEWボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEWボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になると、自動的に止まります。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 自動編集の実行

- 1 AUTO EDITボタンを押します。  
自動編集が実行されます。
  - 途中で編集をやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。

### ポストロールについて

アセンブル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。  
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

### リトライ機能

STOPボタンを押して編集を途中でやめても、そのまま再度AUTO EDITボタンを押すと最初から編集を行います。

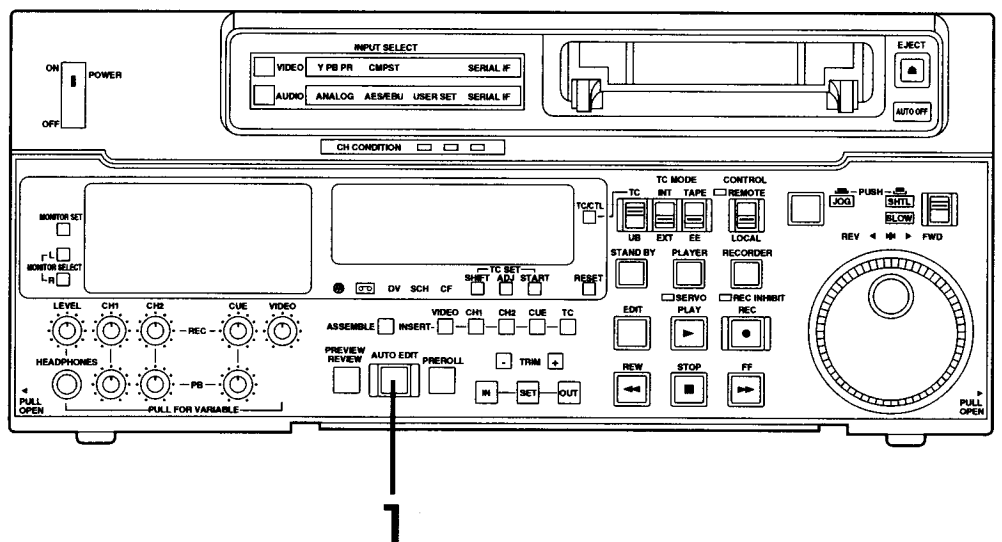
### オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDITボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。

オートタグモードを解除する場合は、走行系 (PLAYボタンなど) ボタンを押します。

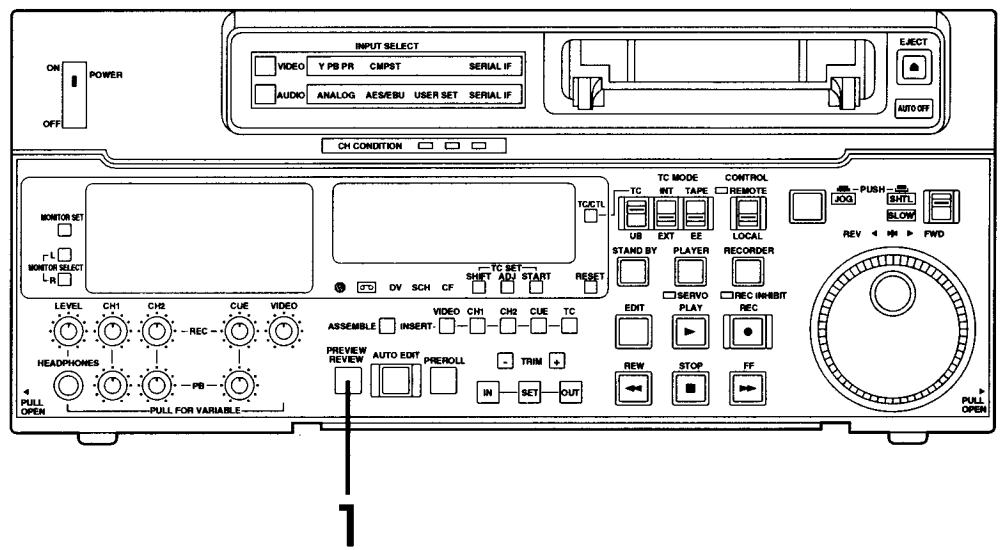
### <ノート>

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますがTRIM+ (またはTRIM-) とSETボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



## レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEWボタンを押します。  
レコーダ側でレビューが開始されます。
  - レビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## スプリット編集

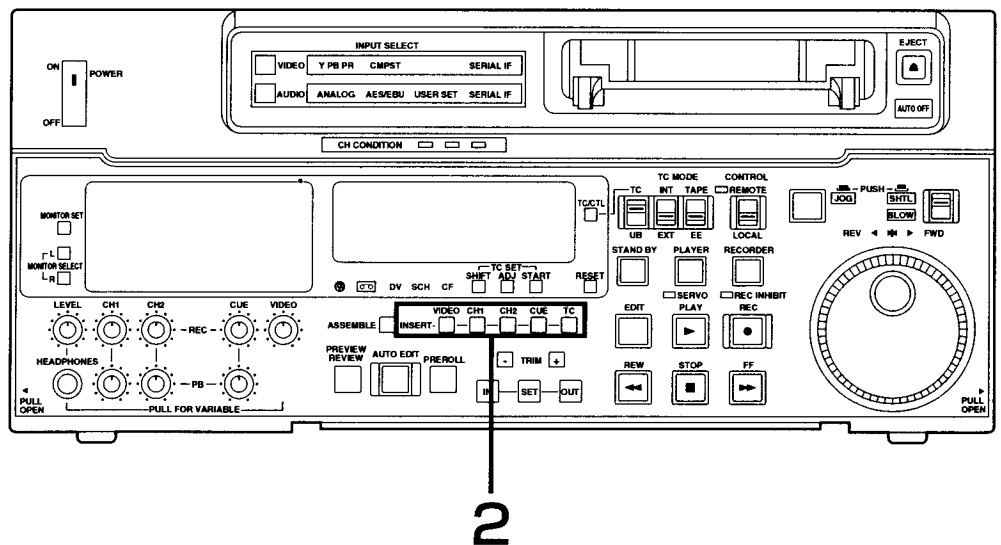
スプリット編集は、インサート編集中に編集チャンネルを切替える編集のことをいいます。

- 1 インサート編集を実行します。
- 2 編集チャンネルを切替えます。

例えば、VIDEOチャンネルをインサート編集中にAUDIO CH2の音声を追加挿入する場合

**2-1** VIDEOチャンネル編集中にAUDIO CH2 ボタンを押します。  
ランプが点灯し、AUDIO CH2 がインサート編集されます。

**2-2** 再度AUDIO CH2 ボタンを押して、ランプを消灯させます。  
AUDIO CH2 のインサート編集が終了します。



---

---

## オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらせて編集することができます。オーディオ編集点の登録、削除、訂正はインサート編集モードが選択されている時のみ操作できます。

編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

### ■編集点の登録

ビデオIN点 : INボタンを押しながらSETボタンを押します。

ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

オーディオIN点 : ASSEMBLEボタンとINボタンを押しながらSETボタンを押します。

オーディオOUT点 : ASSEMBLEボタンとOUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

### ■編集点の削除

ビデオIN点 : INボタンを押しながらRESETボタンを押します。

ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

オーディオIN点 : ASSEMBLEボタンとINボタンを押しながらRESETボタンを押します。

オーディオOUT点 : ASSEMBLEボタンとOUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

### ■編集点の訂正

ビデオIN点 : INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。

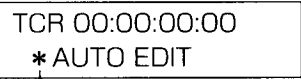
ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。

オーディオIN点 : ASSEMBLEボタンとINボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。

オーディオOUT点 : ASSEMBLEボタンとOUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。

### ■オーディオスプリット編集の表示

オーディオ編集点を登録しますと、「\*」がフロントパネルとモニターテレビにスーパー表示され、オーディオスプリット編集であることを表示します。



TCR 00:00:00:00  
\* AUTO EDIT

オーディオスプリット編集表示

# 自動編集 (デッキ対デッキ)

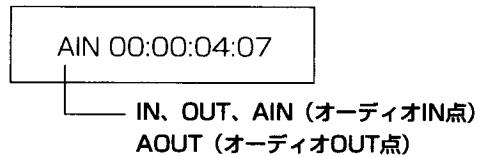
## オーディオスプリット編集

### ■オーディオスプリット編集点の表示

編集点はフロントパネルに以下のように表示されます。(下図はオーディオIN点の場合)

#### 操作

- ビデオIN点 : INボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押します。
- オーディオIN点 : ASSEMBLEボタンを押しながらINボタンを押します。
- オーディオOUT点 : ASSEMBLEボタンを押しながらOUTボタンを押します。



#### <ノート>

オーディオ編集点を登録するときは、必ずASSEMBLEボタンを先に押しなが行ってください。オーディオ編集点の登録後、編集モードをアセンブル編集に切り換えると、オーディオ編集点は削除されます。

### ■編集点へのキューアップ

- ビデオIN点へのキューアップ : INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- ビデオOUT点へのキューアップ : OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- オーディオIN点へのキューアップ : ASSEMBLEボタンとINボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。
- オーディオOUT点へのキューアップ : ASSEMBLEボタンとOUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

### ■デュレーションの表示

デュレーションはフロントパネルのみ表示することができます。

- ビデオIN点/OUT点間 : INボタンとOUTボタンを同時に押します。
- オーディオIN点/OUT点間 : ASSEMBLEボタンを押しながら、INボタンとOUTボタンを同時に押します。

#### マッチフレーム処理機構について

- VTR2台でオーディオスプリット編集操作の場合、ビデオの編集点としてプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤ側にオーディオIN/OUT点、レコーダ側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

### ■スプリット編集機能のないVTRをプレーヤにする時

ビデオとオーディオの編集点を独立して設定することができないVTRをプレーヤとして使用する時、オーディオのIN点とOUT点をレコーダ側に設定し、ビデオの編集点として3点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

#### <ノート>


オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点 (またはビデオOUT点) を登録せずに、ビデオOUT点 (またはオーディオOUT点) のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT (またはビデオOUT点) 点が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで編集を続けます。

# ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整

編集機を使用したABロール編集（2台のソース機を使った編集）などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にビデオ出力信号（ENCODER OUT）を調整する必要があります。

（この調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。）

本機で調整する場合は以下のようにします。

- 1 接続を確認します。（26ページ参照）
- 2 フロントパネル下部のREMOTE/LOCALスイッチ  を調整する位置（LOCAL）に切替えます。

**REMOTE：** 外部のエンコーダーリモートコントローラでビデオ出力信号を調整します。

**LOCAL：** 本機でビデオ出力信号を調整します。

- 3 ソース機単体で調整します。

**3-1** プリセット値を使用する場合、  
VIDEO LEVEL、CHROMA LEVEL、SETUP、HUE、の各PRESET/MANUALスイッチを「PRESET」にします。


**3-2** PRESET値を使わずに、ビデオ出力信号を調整する場合

- 1 標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
- 2 ウェーブフォームモニター（WFM）、ベクトルスコープ（VSC）が以下のようになるように各ボリュームを調整します。

## A ビデオレベル

100IREに調整します。

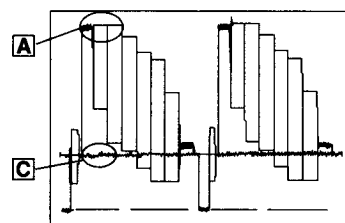
## B クロマレベル・ヒュー

二つのボリュームを調整して  マークに各ベクトル波形の光点を入れます。

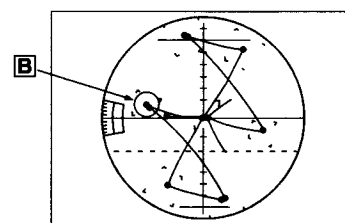
## C セットアップレベル

ズレをなくすように調整します。

■WFM上の波形



■VSC上の波形



- 4 接続しているソース機を同じように調整します。

# セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

## 設定の変更

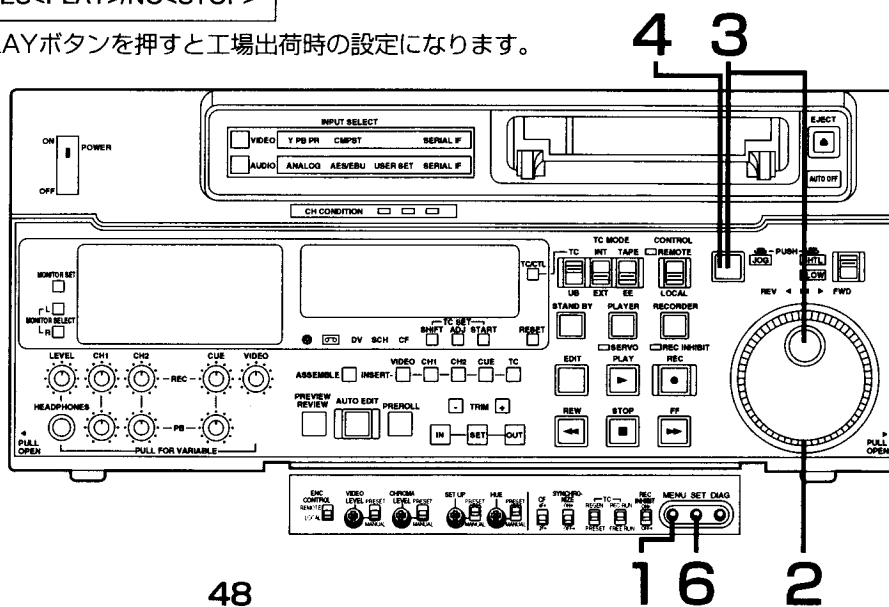
- 1 MENUボタンを押します。  
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。  
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2 サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。  
メニュー画面のカーソル(\*)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
  - 右に回すと項目No.が001 → 002 → 003 → 004 → のように増加し、左に回すと減少します。
  - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
  - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。  
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。  
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4 設定が終了すると、サーチボタンを離します。  
項目No.が点滅します。
  - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5 変更する項目がある場合、2~4 を繰り返します。
- 6 SETボタンを押します。  
変更した内容は記憶されます。  
**設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。**
  - セットアップの内容を工場出荷 (初期設定) に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET  
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

### <ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されません。



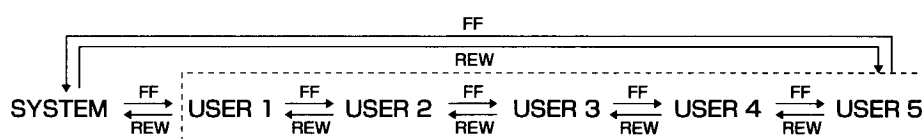


# セットアップ (設定) メニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

## ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。  
STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



### ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決めると、SETボタンを押します。  
ユーザーファイルを変更して記憶します。

### <ノート>

- SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

# セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2~USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30 (MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

## ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (\*) をシステムファイルはNo.30 (MENU LOCK) へ、ユーザーファイルはNo.A03 (MENU LOCK) へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。  
**ロック設定**：設定値を0001 (ON) に設定します。  
**ロック解除**：設定値を0000 (OFF) に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

|                  |               |
|------------------|---------------|
| SETUP-MENU       | LOCKED        |
| <USER2>          | NO.000 - 0005 |
| *000 P-ROLL TIME | 5s            |
| 001 CHARA H-POS  | 5             |
| 002 CHARA V-POS  | 23            |
| 003 DISPLAY SEL  | T&STA         |
| 004 LOCAL ENA    | ST&EJ         |
| 005 TAPE TIMER   | ±12h          |
| 006 SUPER        | ON            |
| 007 CHARA TYPE   | WHITE         |
| 008 REMAIN SEL   | OFF           |

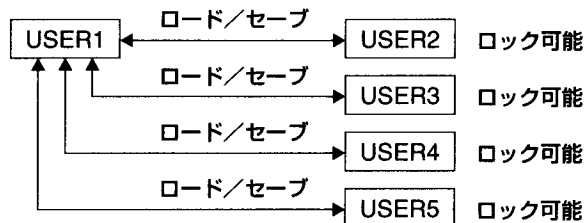
- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

### <ノート>

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

# セットアップメニュー

USER2～USER5の内容をUSER1へ複写（ロード）することができます。また、USER1の内容をUSER2～USER5へ複写（セーブ）することができます。



## ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(\*)をNo.A00 (LOAD)へ移動します。

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
726 CUE OUT   NORMAL
*A00 LOAD    USER2
A01 SAVE     USER2
A02 P.ON LOAD OFF
END
    
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU LOAD

USER2 → USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
    
```

カウンタ表示部

```

TCR 00:00:00:00
SETUP LOAD U-2 → U-1
    
```

■の部分4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル（\*）をNo.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE) 以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

# セットアップメニュー

## ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル（\*）をNo.A01（SAVE）へ移動します。

|               |               |
|---------------|---------------|
| SETUP-MENU    | MENU          |
| <USER1>       | NO.A00 - 0000 |
| 726 CUE OUT   | NORMAL        |
| A00 LOAD      | USER2         |
| *A01 SAVE     | USER2         |
| A02 P.ON LOAD | OFF           |
| END           |               |

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作はできません。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

|                    |
|--------------------|
| SETUP-MENU SAVE    |
| USER1 → USER2 OK?  |
| YES<PLAY>/NO<STOP> |

カウンタ表示部

|                      |
|----------------------|
| TCR 00:00:00:00      |
| SETUP SAVE U-1 → U-2 |

■の部分には4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル（\*）をNo.A00（LOAD）、No.A01（SAVE）以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

## 電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02（P.ON LOAD）でロードするユーザーファイルを予め選択しておくこと、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

# セットアップ (設定) メニュー

## SYSTEMメニュー

### <SYSTEM>

| 項 目 |             | 設定値                            |                            | 設定内容  |
|-----|-------------|--------------------------------|----------------------------|---|
| No. | スーパー表示      | No.                            | スーパー表示                     |   |
| 00  | SYS SC      | 0000<br>}<br>0127<br>}<br>0255 | -127<br>}<br>0<br>}<br>128 | システム位相調整：トータル可変範囲 ±180° 以上<br>-：進み<br>+：遅れ<br><ノート><br>工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。               |
| 01  | SYS H       | 0000<br>}<br>0030<br>}<br>0060 | -30<br>}<br>0<br>}<br>30   | システム位相調整：SC周期単位 (280ns ステップ)<br>-：進み<br>+：遅れ<br><ノート><br>工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。             |
| 02  | VIDEO PHASE | 0000<br>}<br>0032<br>}<br>0064 | -32<br>}<br>0<br>}<br>32   | ビデオ位相調整：148ns ステップ<br>-：進み<br>+：遅れ  |
| 03  | YC COARSE   | 0000<br>}<br>0002<br>}<br>0004 | -2<br>}<br>0<br>}<br>2     | YCタイミング粗調整：148ns ステップ<br>-：進み<br>+：遅れ   |
| 04  | YC FINE     | 0000<br>}<br>0002<br>}<br>0004 | -2<br>}<br>0<br>}<br>2     | YCタイミング微調整：37ms ステップ<br>-：進み<br>+：遅れ<br>(デジタルOUTオプションのYCは変化しません。)                               |
| 05  | SCH COARSE  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003   | 0<br>90<br>180<br>270      | SCH位相調整：90° 単位<br>-：進み<br>+：遅れ<br>(SC位相が変化し、H位相は変化しません。)  |
| 06  | SCH FINE    | 0000<br>}<br>0128<br>}<br>0255 | -128<br>}<br>0<br>}<br>127 | SCH位相調整：トータル可変範囲 ±45° 以上<br>(SC位相が変化し、H位相は変化しません。)  |
| 07  | Pb OUT LV   | 0000<br>}<br>0124<br>}<br>0247 | -124<br>}<br>0<br>}<br>123 | コンポーネントPb出力レベル調整：トータル可変範囲 ±3dB  |
| 08  | Pr OUT LV   | 0000<br>}<br>0124<br>}<br>0247 | -124<br>}<br>0<br>}<br>123 | コンポーネントPr出力レベル調整：トータル可変範囲 ±3dB  |
| 10  | AV PHASE    | 0000<br>}<br>0128<br>}<br>0255 | -128<br>}<br>0<br>}<br>127 | 映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。<br>：20.8μsステップ<br>-：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。<br>+：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。 |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## SYSTEMメニュー

### <SYSTEM> (つづき)

| 項目  |             | 設定値          |              | 設定内容  |
|-----|-------------|--------------|--------------|---|
| No. | スーパー表示      | No.          | スーパー表示       |   |
| 20  | SYS H RANGE | 0000<br>0001 | FULL<br>FINE | ENCODER REMOTE接続時のSYSTEM Hの可変範囲を選択します。<br>0: ±8μsec (±30ステップ)<br>1: -1.9~+2.7μsec (-7~+10ステップ)<br><ノート><br>工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 |
| 30  | MENU LOCK   | 0000<br>0001 | OFF<br>ON    | システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。<br>0: ロック解除 (変更可能)<br>1: ロック設定 (変更禁止)  |

— は工場出荷モードです。

## USERメニュー

### <BASIC>

| 項目  |             | 設定値                            |                           | 設定内容  |
|-----|-------------|--------------------------------|---------------------------|---|
| No. | スーパー表示      | No.                            | スーパー表示                    |   |
| 000 | P-ROLL TIME | 0000<br>}<br>0005<br>}<br>0015 | 0S<br>}<br>5S<br>}<br>15S | プリロール時間を設定します。<br>0秒~15秒の間で1秒単位で設定できます。<br><ノート><br>VTR本体での自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT]時はプリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。   |
| 001 | CHARA H-POS | 0000<br>}<br>0005<br>}<br>0012 | 0<br>}<br>5<br>}<br>12    | VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。<br><ノート><br>1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO 3へ出力します。但し、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO3へ出力します。<br>2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。 |
| 002 | CHARA V-POS | 0000<br>}<br>0018<br>}<br>0022 | 0<br>}<br>18<br>}<br>22   | VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。<br><ノート><br>1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO 3へ出力します。但し、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO3へ出力します。<br>2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。 |

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <BASIC> (つづき)

| 項目  |                 | 設定値                  |                        | 設定内容  |
|-----|-----------------|----------------------|------------------------|---|
| No. | スーパー表示          | No.                  | スーパー表示                 |   |
| 003 | DISPLAY<br>SEL  | 0000<br>0001<br>0002 | TIME<br>T&STA<br>T&S&M | VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。<br>0: 時間のみ<br>1: 時間および動作モード<br>2: 時間、動作モードおよびモード<br><ノート><br>•モード表示は、DVCPROフォーマット時は、DVCPRO MODE表示<br>DVフォーマット時は、DV MODE表示<br>•ワーニング、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。 |
| 004 | LOCAL<br>ENA    | 0000<br>0001<br>0002 | DIS<br>ST&EJ<br>ENA    | REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロントパネルで操作可能なボタンを選択します。<br>0: 全て不可<br>1: STOP、EJECTボタンのみ可能<br>2: RECORDER、PLAYERボタン以外全て可能   |
| 005 | TAPE<br>TIMER   | 0000<br>0001         | ±12h<br>24h            | CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。<br>0: 12時間表示<br>1: 24時間表示  |
| 006 | SUPER           | 0000<br>0001         | OFF<br>ON              | VIDEO OUT 3端子にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択します。<br>0: 表示しません。<br>1: 表示します。   |
| 007 | CHARA<br>TYPE   | 0000<br>0001         | WHITE<br>W/OUT         | VIDEO OUT 3端子のスーパーおよび、SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。<br>0: 白文字で、背景は黒<br>1: 白文字で、黒のふちどり  |
| 008 | REMAIN<br>SEL   | 0000<br>0001         | OFF<br>ON              | フロントのREMAIN (テープ残量時間) を表示するかどうかを選択します。<br>0: 表示しません。<br>1: 表示します。<br><ノート><br>表示するを選択した場合であっても、EJECTおよびカセットイン後でテープ残量の計算を行っている間は、表示されません。  |
| 009 | SETUP<br>NUMBER | 0000<br>0001         | OFF<br>ON              | フロントにSETUP-MENUのNo.表示を行うかどうかを選択します。<br>0: 表示しません。<br>1: 表示します。  |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <OPERATION>

| 項目  |                | 設定値                  |                        | 設定内容  |
|-----|----------------|----------------------|------------------------|---|
| No. | スーパー表示         | No.                  | スーパー表示                 |   |
| 100 | SEARCH<br>ENA  | 0000<br>0001         | DIAL<br>KEY            | ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。<br>0: ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。<br>1: サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。  |
| 101 | SHTL MAX       | 0000<br>0001<br>0002 | X16<br>X32<br>X60      | シャトル動作の最大速度を設定します。<br>0: X16倍速<br>1: X32倍速<br>2: X60倍速<br><ノート><br>DVフォーマットの場合は、「X60」を選択した場合でもX32になります。   |
| 102 | FF. REW<br>MAX | 0000<br>0001<br>0002 | X32<br>X60<br>X100     | FF、REW動作の最大速度を設定します。<br>0: X32倍速<br>1: X60倍速<br>2: X100倍速<br><ノート><br>DVフォーマットの場合は、本設定に関係なくX32になります。  |
| 103 | AUDIO<br>MUTE  | 0000<br>0001         | OFF<br>ON              | STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。<br>0: 音声出力されるまでの時間が短くなります。<br>1: 完全な状態になってから音声出力します。<br><ノート><br>0 (OFF) に設定した場合、出力される最初の部分は不完全な音になるため、放送用に使用することはおすすりできません。   |
| 104 | REF<br>ALARM   | 0000<br>0001         | OFF<br>ON              | REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。<br>0: 表示しません。<br>1: STOPランプを点滅させることで警告表示します。  |
| 105 | AUTO EE<br>SEL | 0000<br>0001<br>0002 | S/F/R<br>STOP<br>BLACK | TAPE/EE SWがEEの時、EE状態になるVTRのモードを選択します。<br>0: STOP、FF、REWの時、EE状態になります。<br>但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。<br>1: STOPの時のみ、EE状態になります。<br>但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。<br>2: STOPの時のみ、EE状態になります。<br>但し、EJECTは、TAPE/EE状態により<br>EE時: EE状態になります。<br>TAPE時: 映像系は、BLACK状態になります。<br>音声系は、ミュート状態になります。 |
| 106 | PLAY<br>DELAY  | 0000<br>?<br>0015    | 0<br>?<br>15           | PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。  |

— は工場出荷モードです。



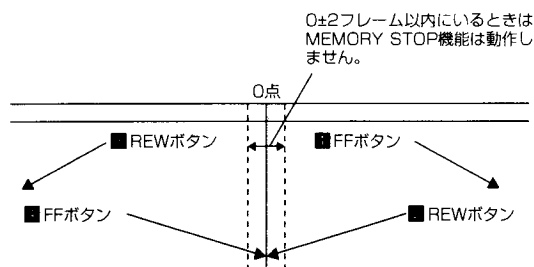
# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <OPERATION>

| 項目  |                | 設定値          |                 | 設定内容   |
|-----|----------------|--------------|-----------------|--|
| No. | スーパー表示         | No.          | スーパー表示          |  |
| 108 | FORMAT<br>SEL  | 0000<br>0001 | DVCPRO<br>DV    | <p>Lカセット使用時のフォーマットを選択します。</p> <p>0: DVCPROモード<br/>1: DVモード</p> <p>&lt;ノート&gt;<br/>選択したフォーマットと逆のテープを挿入すると、再生以外に以下の不具合がありますのでご注意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>DVCPROモード選択で、DVカセットを挿入すると、記録動作を行いますが、性能等の保証はできません。また、逆のDVモードでDVCPROカセットを挿入すると、記録できません。</li> <li>REMAIN表示が正確に出ません。</li> <li>テープ始端、終端近傍でのスローダウン位置が正確に出ません。</li> <li>その他、フォーマットの異なるテープを挿入した場合、性能等の保証はできません。</li> </ol> |
| 112 | AUTO REW       | 0000<br>0001 | OFF<br>ON       | <p>テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。</p> <p>0: テープ終端で停止します。<br/>1: テープ始端まで巻き戻します。</p>  |
| 113 | MEMORY<br>STOP | 0000<br>0001 | OFF<br>ON       | <p>CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。</p> <p>0: VTRIは停止しません。<br/>1: VTRIは自動的に停止します。</p> <p>&lt;ノート&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>停止モードは、セットアップメニューNo.313 (AFTER CUE-UP) の設定により停止または静止画 (SHTL STILL) モードとなります。</li> <li>AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。</li> </ol>  |
| 115 | STOP<br>RESPNS | 0000<br>0001 | NORMAL<br>QUICK | <p>テープ走行中からSTOP/STILLモードへ移行する際の応答性を選択します。</p> <p>0: 出力画を重視します。<br/>1: 応答性を重視します。</p> <p>&lt;ノート&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(QUICK) の設定の場合、STOP/STILL時に <ul style="list-style-type: none"> <li>0 (NORMAL) 設定のようなきれいな画像にはならない場合があります。</li> <li>CTLが±2フレームずれることがあります。</li> </ul> </li> </ol>  |

### MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRIはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRIはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <INTERFACE>

| 項目  |          | 設定値          |                 | 設定内容  |
|-----|----------|--------------|-----------------|---|
| No. | スーパー表示   | No.          | スーパー表示          |   |
| 200 | PARA RUN | 0000<br>0001 | DIS<br>ENA      | 2台以上のVTRを同期運転させるかを選択します。<br>0: 同期運転させません。<br>1: 同期運転させます。<br><ノート><br>同期運転させる場合は、全てのVTRの項目200「1」に設定します。 |
| 201 | 9P SEL   | 0000<br>0001 | OFF<br>ON       | REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。<br>0: 機能しません。<br>1: 機能します。                             |
| 202 | ID SEL   | 0000<br>0001 | OTHER<br>DVCPRO | コントローラに返すID情報を選択します。<br>0: 20 25H<br>1: DVCPROの独自のID (FO 33H) を返します。                                    |
| 203 | 25P SEL  | 0000<br>0001 | OFF<br>ON       | REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL (25P) 端子が機能するかどうかを選択します。<br>0: 機能しません。<br>1: 機能します。                |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

## USERメニュー

### <EDIT>

| 項目  |                 | 設定値                  |                      | 設定内容   |
|-----|-----------------|----------------------|----------------------|--|
| No. | スーパー表示          | No.                  | スーパー表示               |  |
| 301 | IN/OUT<br>DEL   | 0000<br>0001         | MANU<br>AUTO         | 編集点を誤って設定したとき (OUT点がIN点より前にあるとき) の動作を選択します。<br>0: 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。<br>1: あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。                      |
| 302 | NEGA<br>FLASH   | 0000<br>0001         | OFF<br>ON            | IN点がOUT点より大きい時、ネガティブ表示するかを選択します。<br>0: ネガティブ表示をしません。<br>1: ネガティブ表示をします。  |
| 303 | STD/<br>NON-STD | 0000<br>0001<br>0002 | AUTO<br>STD<br>N-STD | コンポジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。<br>0: スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。<br>1: スタンダード信号処理を行います。(強制STD)<br>2: ノンスタンダード信号処理を行います。(強制NON-STD) |
| 304 | SERVO<br>REF    | 0000<br>0001         | AUTO<br>EXT          | サーボの同期する信号を選択します。<br>0: 記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。<br>1: 常にREF信号に同期します。  |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <EDIT> (つづき)

| 項目  |                 | 設定値                          |                              | 設定内容  |
|-----|-----------------|------------------------------|------------------------------|---|
| No. | スーパー表示          | No.                          | スーパー表示                       |   |
| 305 | EDIT<br>RPLCE1  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | N-DEF<br>CH1<br>CH2<br>CH1+2 | デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能の無いコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。<br>0: 設定しません<br>1: アナログCH1エディットプリセットに従います。<br>2: アナログCH2エディットプリセットに従います。<br>3: アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。 |
| 306 | EDIT<br>RPLCE2  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | N-DEF<br>CH1<br>CH2<br>CH1+2 | セットアップメニューNo.305と同様に、VTRのCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。<br>0: 設定しません<br>1: アナログCH1エディットプリセットに従います。<br>2: アナログCH2エディットプリセットに従います。<br>3: アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。  |
| 307 | EDIT<br>RPLCEC  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | N-DEF<br>CH1<br>CH2<br>CH1+2 | セットアップメニューNo.305と同様に、VTRのCUEのエディットプリセットをエディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。<br>0: 設定しません<br>1: アナログCH1エディットプリセットに従います。<br>2: アナログCH2エディットプリセットに従います。<br>3: アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。  |
| 308 | CONFI<br>EDIT   | 0000<br>0001                 | OFF<br>ON                    | 編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。<br>0: 同時再生を行いません。<br>1: 同時再生を行います。<br><ノート><br>TAPE/EE SWが「TAPE」側の場合に同時再生が有効になります。   |
| 309 | AUD EDIT<br>IN  | 0000<br>0001                 | CUT<br>FADE                  | デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。<br>0: カット処理<br>1: Vフェード処理   |
| 310 | AUD EDIT<br>OUT | 0000<br>0001                 | CUT<br>FADE                  | デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。<br>0: カット処理<br>1: Vフェード処理  |
| 311 | AUTO<br>ENTRY   | 0000<br>0001                 | DIS<br>ENA                   | IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。<br>0: 登録しません。<br>1: 登録します。   |
| 312 | CF ADJ<br>SEL   | 0000<br>0001                 | PLAYER<br>RECORD             | デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。<br>0: PLAYERのIN/OUT点を補正します。<br>(RECORDER基準)<br>1: RECORDERのIN/OUT点を補正します。<br>(PLAYER基準)   |
| 313 | AFTER<br>CUE-UP | 0000<br>0001                 | STOP<br>STILL                | キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。<br>0: STOPモードになります。<br>1: 静止画 (SHTL STILL) モードになります。  |

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <EDIT> (つづき)

| 項 目 |              | 設定値  |   | 設定内容  |
|-----|--------------|--|---|---|
| No. | スーパー表示       | No.  | スーパー表示  |   |
| 315 | AUD MEM UNIT | 0000<br>0001<br>0002<br>0003   | OFF<br>MODE1<br>MODE2<br>MODE3  | オーディオメモリーユニットAJ-YA752との接続を選択します。<br>0: オーディオメモリーユニットを使用しない場合<br>1: ヴォイスオーバーを行う場合<br>2: CH2に対してクロスフェード編集を行う場合<br>3: CH1に対してクロスフェード編集を行う場合<br><ノート><br>• 0 (OFF) 以外の設定の場合、RS232Cインターフェース (オプション) は機能しません。<br>• 各モードの使用方法はオーディオメモリーユニットAJ-YA752の取扱説明書をご参照ください。   |
| 316 | VAR STEP     | 0000<br>0001   | FINE<br>COARSE  | リモート操作時のVARの速度を選択します。<br>0: 細かいステップの速度で再生します。<br>1: -0.43~+1 (-0.5~+1) 倍速の範囲はノイズレス再生可能な速度で再生します。<br><ノート><br>• ( ) 内はDVモードの場合の速度です。<br>• 1 (COARSE) の設定では編集コントローラからの調相ができません。   |
| 317 | VAR FWD MAX  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003<br>0004<br>0005<br>0006<br>0007<br>0008 | +4.1<br>+1.85<br>+1<br>+0.75<br>+0.5<br>+0.3<br>+0.2<br>+0.1<br>+0.03 | VAR FWDの最大速度を設定します。<br>0: +4.1 (+3.1) 倍速<br>1: +1.85 (+1.85) 倍速<br>2: +1 (+1) 倍速<br>3: +0.75 (+0.5) 倍速<br>4: +0.5 (+0.5) 倍速<br>5: +0.3 (+0.3) 倍速<br>6: +0.2 (+0.2) 倍速<br>7: +0.1 (+0.1) 倍速<br>8: +0.03 (+0.03) 倍速<br><ノート><br>• ( ) 内はDVモードの場合の速度です。<br>• DVモードの場合、フロントでのダイヤル操作時は最大+1倍速再生となります。<br>• 0 (+4.1) 以外の設定では編集コントローラからの調相ができません。 |
| 318 | VAR REV MAX  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003<br>0004<br>0005<br>0006<br>0007         | -4.1<br>-1.85<br>-1<br>-0.43<br>-0.3<br>-0.2<br>-0.1<br>-0.03         | VAR REVの最大速度を設定します。<br>0: -4.1 (-3.1) 倍速<br>1: -1.85 (-1.85) 倍速<br>2: -1 (-1) 倍速<br>3: -0.43 (-0.5) 倍速<br>4: -0.3 (-0.3) 倍速<br>5: -0.2 (-0.2) 倍速<br>6: -0.1 (-0.1) 倍速<br>7: -0.03 (-0.03) 倍速<br><ノート><br>• ( ) 内はDVモードの場合の速度です。<br>• DVモードの場合、フロントでのダイヤル操作時は最大-0.5倍速再生となります。  |

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <EDIT> (つづき)

| 項 目 |                | 設定値                          |                              | 設定内容   |
|-----|----------------|------------------------------|------------------------------|--|
| No. | スーパー表示         | No.                          | スーパー表示                       |  |
| 319 | JOG STEP       | 0000<br>0001                 | FINE<br>COARSE               | リモート操作時のJOGの速度を選択します。<br>0: 細かいステップの速度で再生します。<br>1: -0.43~+1 (-0.5~+1) 倍速の範囲はノイズレス再生可能な速度で再生します。<br><ノート><br>・( )内はDVモードの場合の速度です。<br>・1 (COARSE) の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相ができません。                  |
| 320 | JOG FWD<br>MAX | 0000<br>0001<br>0002         | +4.1<br>+1.85<br>+1          | JOG FWDの最大速度を設定します。<br>0: +4.1 (+3.1) 倍速<br>1: +1.85 (+1.85) 倍速<br>2: +1 (+1) 倍速<br><ノート><br>・( )内はDVモードの場合の速度です。<br>・フロントでのダイヤル操作時は最大+1倍速再生となります。<br>・0 (+4.1) 以外の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相ができません。 |
| 321 | JOG REV<br>MAX | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | -4.1<br>-1.85<br>-1<br>-0.43 | JOG REVの最大速度を設定します。<br>0: -4.1 (-3.1) 倍速<br>1: -1.85 (-1.85) 倍速<br>2: -1 (-1) 倍速<br>3: -0.43 (-0.5) 倍速<br><ノート><br>・( )内はDVモードの場合の速度です。<br>・フロントでのダイヤル操作時は、DVCPROモードで最大-1倍速、DVモードで最大-0.5倍速再生となります。         |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <TAPE PROTECT>

| 項目  |                 | 設定値  |   | 設定内容  |
|-----|-----------------|--|---|---|
| No. | スーパー表示          | No.  | スーパー表示  |   |
| 400 | STILL<br>TIMER  | 0000<br>0001<br>0002<br>0003<br>0004<br>0005<br>0006<br>0007<br>0008 | 0.5s<br>5s<br>10s<br>20s<br>30s<br>40s<br>50s<br>1min<br>2min | STOP、サーチSTILL (JOG/VAR/SHTL) の状態で放置された時、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。<br>(単位 s : 秒、min : 分)<br><br><ノート><br>民生DVテープを使用する時は、10s以上選択しても10sで処理されます。<br>ただし、選択画面上は2minまで動作します。                      |
| 401 | SRC<br>PROTECT  | 0000<br>0001   | STEP<br>HALF  | サーチモード (JOG/VAR/SHTL) のSTILLの状態でのテープ保護モード時の動作を選択します。<br>0 : STEP FWD<br>1 : HALF LOADING<br><ノート><br>STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態での合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。 |
| 402 | DRUM<br>STDBY   | 0000<br>0001   | OFF<br>ON   | STNDBY OFFモード時のドラムの動作を選択します。<br>0 : ドラムの回転は停止します。<br>1 : ドラムは回転を続けます。   |
| 403 | STOP<br>PROTECT | 0000<br>0001   | STEP<br>HALF  | STOPの状態でのテープ保護モード時の動作を選択します。<br>0 : STEP FWD<br>1 : HALF LOADING<br><ノート><br>STEP FWDが選択されている時に、STOPの状態での合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。                           |

— は工場出荷モードです。

#### <STILL TIMER設定のご注意>

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <TIME CODE>

| 項 目 |               | 設定値          |               | 設定内容  |
|-----|---------------|--------------|---------------|---|
| No. | スーパー表示        | No.          | スーパー表示        |   |
| 500 | VITC<br>POS-1 | 0000         | 10L           | VITC信号の挿入位置を設定します。<br>(501: VITC POS-2と同じラインは選択できません。)  |
|     |               | 0001         | 11L           |   |
|     |               | 0002         | 12L           |   |
|     |               | 0003         | 13L           |   |
|     |               | 0004         | 14L           |   |
|     |               | 0005         | 15L           |   |
|     |               | 0006         | 16L           |   |
|     |               | 0007         | 17L           |   |
|     |               | 0008         | 18L           |   |
|     |               | 0009         | 19L           |   |
|     |               | 0010         | 20L           |   |
| 501 | VITC<br>POS-2 | 0000         | 10L           | VITC信号の挿入位置を設定します。<br>(500: VITC POS-1と同じラインは選択できません。)  |
|     |               | 0001         | 11L           |   |
|     |               | 0002         | 12L           |   |
|     |               | 0003         | 13L           |   |
|     |               | 0004         | 14L           |   |
|     |               | 0005         | 15L           |   |
|     |               | 0006         | 16L           |   |
|     |               | 0007         | 17L           |   |
|     |               | 0008         | 18L           |   |
|     |               | 0009         | 19L           |   |
|     |               | 0010         | 20L           |   |
| 502 | VITC<br>BLANK | 0000<br>0001 | BLANK<br>THRU | 500: VITC POS-1、501: VITC POS-2で選択された<br>位置にVITCデータを出力するかどうかを選択します。<br>0: 出力しません。<br>1: 出力します。  |
| 503 | TCG<br>REGEN  | 0000         | TC&UB         | TCG (タイムコードジェネレータ) がREGENモードの時、<br>REGENする信号を選択します。<br>0: タイムコード、ユーザービット共にREGENします。<br>1: タイムコードのみREGENします。<br>2: ユーザービットのみREGENします。                              |
|     |               | 0001         | TC            |   |
|     |               | 0002         | UB            |   |
| 504 | REGEN<br>MODE | 0000         | AS&IN         | 本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイ<br>ムコードをREGENするかどうかを選択します。<br>0: アセンブルまたはインサート編集でREGENします。<br>1: アセンブル編集でREGENします。<br>2: インサート編集でREGENします。<br>3: REGEN/PRESETスイッチに従います。 |
|     |               | 0001         | ASSEM         |   |
|     |               | 0002         | INSRT         |   |
|     |               | 0003         | SW            |   |
| 505 | EXT TC<br>SEL | 0000         | LTC           | 外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを<br>選択します<br>0: TIME CODE IN端子のLTC を使用します。<br>1: ビデオ信号のVITCを使用します。   |
|     |               | 0001         | VITC          |   |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <TIME CODE> (つづき)

| 項 目 |                | 設定値  |        | 設定内容   |
|-----|----------------|------|--------|--|
| No. | スーパー表示         | No.  | スーパー表示 |  |
| 506 | BINARY<br>GP   | 0000 | 000    | TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。<br>0: NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない)<br>1: ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット)<br>2: UNASSIGNED 1 (未定義)<br>3: UNASSIGNED 2 (未定義)<br>4: UNASSIGNED 3 (未定義)<br>5: PAGE/LINE<br>6: UNASSIGNED 4 (未定義)<br>7: UNASSIGNED 5 (未定義) |
|     |                | 0001 | 001    |  |
|     |                | 0002 | 010    |  |
|     |                | 0003 | 011    |  |
|     |                | 0004 | 100    |  |
|     |                | 0005 | 101    |  |
|     |                | 0006 | 110    |  |
|     |                | 0007 | 111    |  |
| 507 | PHASE<br>CORR  | 0000 | OFF    | TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。<br>0: 位相補正コントロールは行いません。<br>1: 位相補正コントロールを行います。  |
|     |                | 0001 | ON     |  |
| 508 | TCG CF<br>FLAG | 0000 | OFF    | TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。<br>0: CFフラグをOFFします。<br>1: CFフラグをONします。   |
|     |                | 0001 | ON     |  |
| 509 | DF MODE        | 0000 | DF     | CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。<br>0: ドロップフレームモード<br>1: ノンドロップフレームモード<br><ノート><br>DF MODEはLOCALまたは項目004のLOCAL ENAが「ENA」の时有効です。   |
|     |                | 0001 | NDF    |  |
| 511 | TC OUT<br>REF  | 0000 | V OUT  | TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。(EEモード時のみ)<br>0: 出力映像に合わせます。<br>1: 外部タイムコード入力に合わせます。  |
|     |                | 0001 | TC IN  |  |

— は工場出荷モードです。



# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <VIDEO>

| 項 目 |                  | 設定値          |                  | 設定内容  |
|-----|------------------|--------------|------------------|---|
| No. | スーパー表示           | No.          | スーパー表示           |   |
| 600 | Pb/Pr<br>IN LV   | 0000<br>0001 | MII<br>B-CAM     | コンポーネント入力信号のレベルを選択します。<br>0: MIIレベル<br>1: β-camレベル  |
| 601 | INT BB<br>SIG    | 0000<br>0001 | OFF<br>BB        | 内蔵のブラックバースト信号を発生させるかどうかを選択します。<br>0: 発生させません。<br>1: 発生させます。   |
| 602 | INPUT<br>C KILL  | 0000<br>0001 | B/W<br>AUTO      | ビデオ入力信号のカラーキラー処理を選択します。<br>0: 強制的にB/W処理を行います。<br>1: 自動処理を行います。  |
| 603 | OUT<br>VSYNC     | 0000<br>0001 | N-VF<br>VF       | EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。<br>0: フロートさせません。<br>1: フロートさせます。         |
| 604 | V-MUTE<br>SEL    | 0000<br>0001 | N-MUTE<br>LOW RF | 再生中にLOW RFまたはサーボロックが外れた場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。<br>0: ミュートしません。(フリーズします。)<br>1: ミュートします。(灰色にします。) |
| 605 | CC (F1)<br>BLANK | 0000<br>0001 | BLANK<br>THRU    | 第1フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。<br>0: 強制ブランキングします。<br>1: ブランキングしません。                               |
| 606 | CC (F2)<br>BLANK | 0000<br>0001 | BLANK<br>THRU    | 第2フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。<br>0: 強制ブランキングします。<br>1: ブランキングしません。                               |
| 607 | CF ID<br>SEL     | 0000<br>0001 | OFF<br>ON        | コンポーネント&SIG PB OUT にCF IDを付加するかどうかを選択します。<br>0: 付加しません。<br>1: 強制的に付加します。                              |
| 608 | FREEZE<br>SEL    | 0000<br>0001 | FIELD<br>FRAME   | 静止画面のフリーズ状態を選択します。<br>0: フィールドフリーズ<br>1: フレームフリーズ<br><ノート><br>フレームフリーズを選択した場合はスロー時もフレームスローになります。      |
| 609 | IN FRM<br>DET    | 0000<br>0001 | FORCED<br>AUTO   | 入力時のフレーム検出を選択します。<br>0: 常にフレーム検出を行います。<br>1: NON STD信号の時のみフレーム検出を禁止します。                               |
| 610 | OUT C<br>KILL    | 0000<br>0001 | B/W<br>COLOR     | ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。<br>0: 強制的にB/W処理を行います。<br>1: 自動処理を行います。                                    |
| 611 | EDH              | 0000<br>0001 | OFF<br>ON        | シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。<br>0: 重畳しません。<br>1: 重畳します。<br><ノート><br>シリアルオプション装着時のみ有効です。                |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <AUDIO>

| 項目  |                    | 設定値                          |                              | 設定内容   |
|-----|--------------------|------------------------------|------------------------------|--|
| No. | スーパー表示             | No.                          | スーパー表示                       |  |
| 700 | CH1 IN<br>LV       | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 701 | CH2 IN<br>LV       | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 702 | CUE IN<br>LV       | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | 4dB<br>0dB<br>-20dB<br>-60dB | オーディオ入力 (CUE) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 703 | CH1 OUT<br>LV      | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 704 | CH2 OUT<br>LV      | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 705 | CUE OUT<br>LV      | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオ出力 (CUE) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 706 | MONIL<br>OUT<br>LV | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 707 | MONIR<br>OUT<br>LV | 0000<br>0001<br>0002         | 4dB<br>0dB<br>-20dB          | オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベル切換えを選択します。   |
| 708 | MONI<br>OUT        | 0000<br>0001                 | UNITY<br>VAR                 | オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換えを選択します。<br>0: 既定値にて出力します。<br>1: ヘッドホンVRIに連動します。 |
| 709 | EMPHA-<br>SIS      | 0000<br>0001                 | OFF<br>ON                    | エンファシスのON/OFFを設定します。   |
| 710 | CH1 IN<br>SEL      | 0000<br>0001                 | ANA<br>DIGI                  | 本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。<br>0: アナログ入力<br>1: デジタル     |

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <AUDIO>

| 項目  |                | 設定値                          |                            | 設定内容   |
|-----|----------------|------------------------------|----------------------------|--|
| No. | スーパー表示         | No.                          | スーパー表示                     |  |
| 711 | CH2 IN<br>SEL  | 0000<br>0001                 | ANA<br>DIGI                | 本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。<br>0：アナログ入力<br>1：デジタル   |
| 712 | DIGI IN<br>SEL | 0000<br>0001<br>0002         | AES<br>SIF1_2<br>SIF3_4    | 本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。<br>0：AES<br>1：シリアルI/F 1、2<br>2：シリアルI/F 3、4<br><ノート><br>選択項目1、2はシリアルオプション装着時に選択します。   |
| 713 | MONI CH<br>SEL | 0000<br>0001<br>0002         | MANU<br>AUTO 1<br>AUTO 2   | モニター出力の選択を行います。<br>0：MONITOR SELECTで選択されているものを出力します。<br>1：-0.43倍速から+1倍速の範囲はPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUE AUDIOを出力します。<br>2：PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUE AUDIOを出力します。<br><ノート><br>前面のMONITOR SELECTスイッチのL/RがCH1またはCH2を選択している場合、有効です。<br>(CUEを選択している場合は上記メニュー設定に関係なく全てのスピードにおいてCUEが出力されます。) |
| 714 | REC CH1        | 0000<br>0001<br>0002         | CH1<br>CH2<br>CH1+2        | オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。<br>0：オーディオ入力のCH1<br>1：オーディオ入力のCH2<br>2：オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号  |
| 715 | REC CH2        | 0000<br>0001<br>0002         | CH1<br>CH2<br>CH1+2        | オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。<br>0：オーディオ入力のCH1<br>1：オーディオ入力のCH2<br>2：オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号  |
| 716 | REC CUE        | 0000<br>0001<br>0002<br>0003 | CUE<br>CH1<br>CH2<br>CH1+2 | CUEに記録する入力信号を選択します。<br>0：CUE IN<br>1：オーディオCH1入力<br>2：オーディオCH2入力<br>3：オーディオCH1とCH2のミックス信号   |
| 717 | SCALE<br>DISP  | 0000<br>0001                 | FULL<br>FINE               | レベルメータの目盛りを選択します。<br>0：フルスケール<br>1：ファインスケール  |
| 718 | DV<br>OUTPUT   | 0000<br>0001<br>0002         | ST1<br>ST2<br>ST1+2        | DVフォーマット再生時、AUDIO CH1、CH2の出力を選択します。<br>0：CH1トラックをCH1に、CH2トラックをCH2に出力します。<br>1：CH3トラックをCH1に、CH4トラックをCH2に出力します。<br>2：CH1トラックとCH3トラックのミックスをCH1に、CH2トラックとCH4トラックのミックスをCH2に出力します。<br><ノート><br>DVフォーマットの4ch記録済テープの再生時のみ有効です。   |

\_\_\_ は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <AUDIO>

| 項目  |                 | 設定値                  |                     | 設定内容  |
|-----|-----------------|----------------------|---------------------|---|
| No. | スーパー表示          | No.                  | スーパー表示              |   |
| 719 | PB FADE         | 0000<br>0001<br>0002 | AUTO<br>CUT<br>FADE | 再生時に音声編集点 (IN点、OUT点) の処理をどのように行うかを選択します。<br>0: 記録時の状態に従う。<br>1: 強制CUT<br>2: 強制FADE  |
| 720 | EMBEDDED<br>AUD | 0000<br>0001         | OFF<br>ON           | シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。<br>0: 重畳しません。<br>1: 重畳します。<br><ノート><br>シリアルオプション装着時のみ有効です。  |
| 723 | DV PB ATT       | 0000<br>0001         | OFF<br>ON           | DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。<br>0: オーディオ出力レベルをアッテネートしません。<br>1: オーディオ出力レベルをアッテネート (低減) します。<br><ノート><br>カセットテープのサイズによって、設定は以下のようになります。<br>1: Lカセット使用時<br>セットアップメニューNo. 108 (FORMAT SEL) が「DV」を選択している時のみ、本設定が有効になります。<br>2: Mカセット使用時<br>本設定は無効になります。<br>3: Sカセット使用時<br>本設定は有効になります。 |
| 724 | MONI SEL<br>INH | 0000<br>0001         | OFF<br>ON           | フロントパネルのMONITOR SELECTボタンおよびMONITOR SETボタン操作の許可/禁止を選択します。<br>0: 操作が可能になります。<br>1: 操作が禁止されます。  |
| 725 | CUE SLOW        | 0000<br>0001         | STEP<br>LINEAR      | SLOW再生時のテープ走行状態 (CUEトラック再生状態) を選択します。<br>0: 出力画を優先し、STEP送りを行います。<br>1: CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。<br><ノート><br>1 (LINEAR) に設定した場合、<br>• STEPモードのようなきれいな画像にならない場合があります。<br>• CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。  |
| 726 | CUE OUT         | 0000<br>0001         | NORMAL<br>DIRECT    | CUE OUT端子からの出力を選択します。<br>0: 出力画にタイミングを合わせます。<br>1: テープ上に記録されたものを遅延なしで出力します。<br><ノート><br>1 (DIRECT) 設定時は、出力画とCUE出力のタイミングは合いません。  |

— は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USERメニュー

### <MENU>

| 項目  |           | 設定値                                  |  | 設定内容  |
|-----|-----------|--------------------------------------|--|---|
| No. | スーパー表示    | No.                                  | スーパー表示                                     |   |
| A00 | LOAD      | 0000<br>0001<br>0002<br>0003         | USER2<br>USER3<br>USER4<br>USER5           | USER1へロードするユーザーファイルの選択します。<br>0： USER2の内容をロードします。<br>1： USER3の内容をロードします。<br>2： USER4の内容をロードします。<br>3： USER5の内容をロードします。<br><ノート><br>ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。  |
| A01 | SAVE      | 0000<br>0001<br>0002<br>0003<br>0004 | USER2<br>USER3<br>USER4<br>USER5<br>LOCKED | USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。<br>0： USER2へセーブします。<br>1： USER3へセーブします。<br>2： USER4へセーブします。<br>3： USER5へセーブします。<br>4： すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。<br><ノート><br>● 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。<br>● すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。 |
| A02 | P.ON LOAD | 0000<br>0001<br>0002<br>0003<br>0004 | OFF<br>USER2<br>USER3<br>USER4<br>USER5    | 電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。<br>0： 前回設定したユーザーファイルで起動します。<br>1： USER2の内容をUSER1へロードし起動します。<br>2： USER3の内容をUSER1へロードし起動します。<br>3： USER4の内容をUSER1へロードし起動します。<br>4： USER5の内容をUSER1へロードし起動します。                                       |
| A03 | MENU LOCK | 0000<br>0001                         | OFF<br>ON                                  | ユーザーファイル (USER2～USER5) のロックモードの設定/解除を選択します。<br>0： ロック解除 (変更可能)<br>1： ロック設定 (変更禁止)<br><ノート><br>USER1のロック設定はできません。  |

— は工場出荷モードです。

### <ノート>

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P.ON LOAD) はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2～USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) はUSER2～USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

# タイムコード/ユーザービットについて

---

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード→スロー再生→高速再生（約100倍速）まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24  
↑    ↑    ↑    ↑  
時    分    秒    フレーム

## ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

# 内部/外部タイムコードの記録

---

## 1 内部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)
- 4 REC RUN/FREE RUNスイッチの設定  
REC RUN : 記録と同時にタイムコードが歩進します。  
FREE RUN : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。
- 5 REGEN/PRESETスイッチの設定  
REGEN : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。  
(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参考してください。)  
セットアップメニューNo.503 (TCG REGEN)  
セットアップメニューNo.504 (REGEN MODE)  
PRESET : TC SETボタンで設定された値から記録を開始します。
  - 自動編集時はPRESETの位置でもメニューNo.504の設定によりREGENします。
- 6 TC SETボタンの設定  
TC SETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。
  1. SHIFTボタンを押します。  
左端の桁が点滅します。
  2. ADJボタンを押して値を変更します。  
押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。
    - タイムコードおよびユーザービットの実時間使用の場合  
00:00:00:00 – 23:59:59:29
    - ユーザービット  
00 00 00 00 – FF FF FF FF
  3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。
  4. 開始番号の設定が終わると、STARTボタンを押します。  
「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。
  5. 記録または編集を行います。

## 2 外部タイムコードの設定 (TC SW → EXT)

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)
- 4 セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で以下の設定ができます。  
LTC : 後面ジャック板TIME CODE IN端子 (XLR) に入力されるLTC信号がTCとして記録されます。  
<ノート> LTCはビデオ信号と同期している必要があります。  
VITC : 入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

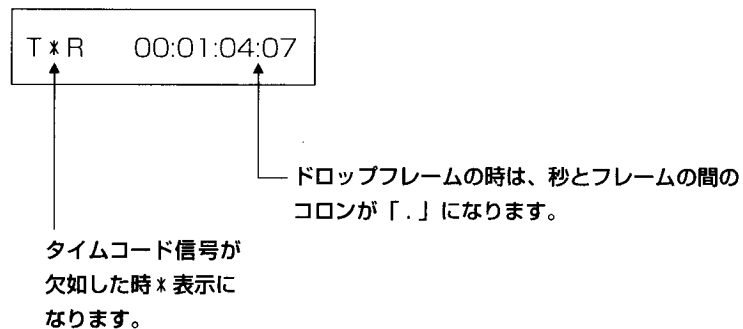
# タイムコード/ユーザービットの再生

---

- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLボタンを「TC」にします。
- 3 TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。  
TC：タイムコードが表示されます。  
UB：ユーザービットが表示されます。
  - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。  
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。  
セットアップメニューNo.006 (SUPER) が「ON」の場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

## <ノート>

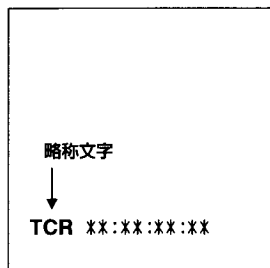
- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。  
ディスプレイは以下のようになります。





# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

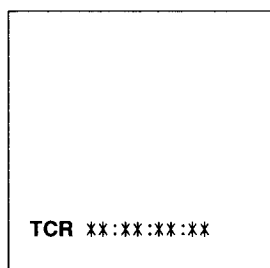


- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

モニターテレビ

## 表示文字

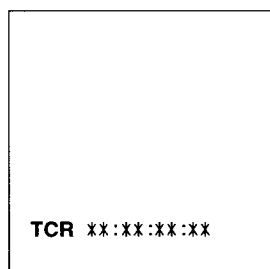
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.007 (CHARA TYPE) で文字の背影を変えることができます。



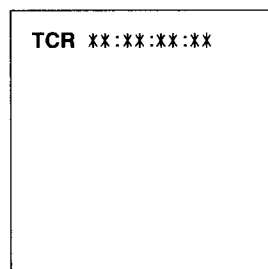
モニターテレビ

## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.001 (CHARA H-POS) とセットアップメニューNo.002 (CHARA V-POS) で変更することができます。



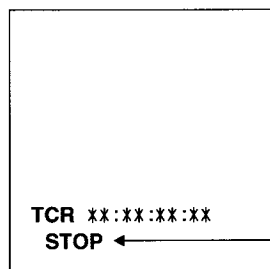
モニターテレビ



モニターテレビ

## 動作モード

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でVTRの動作モードも表示されます。



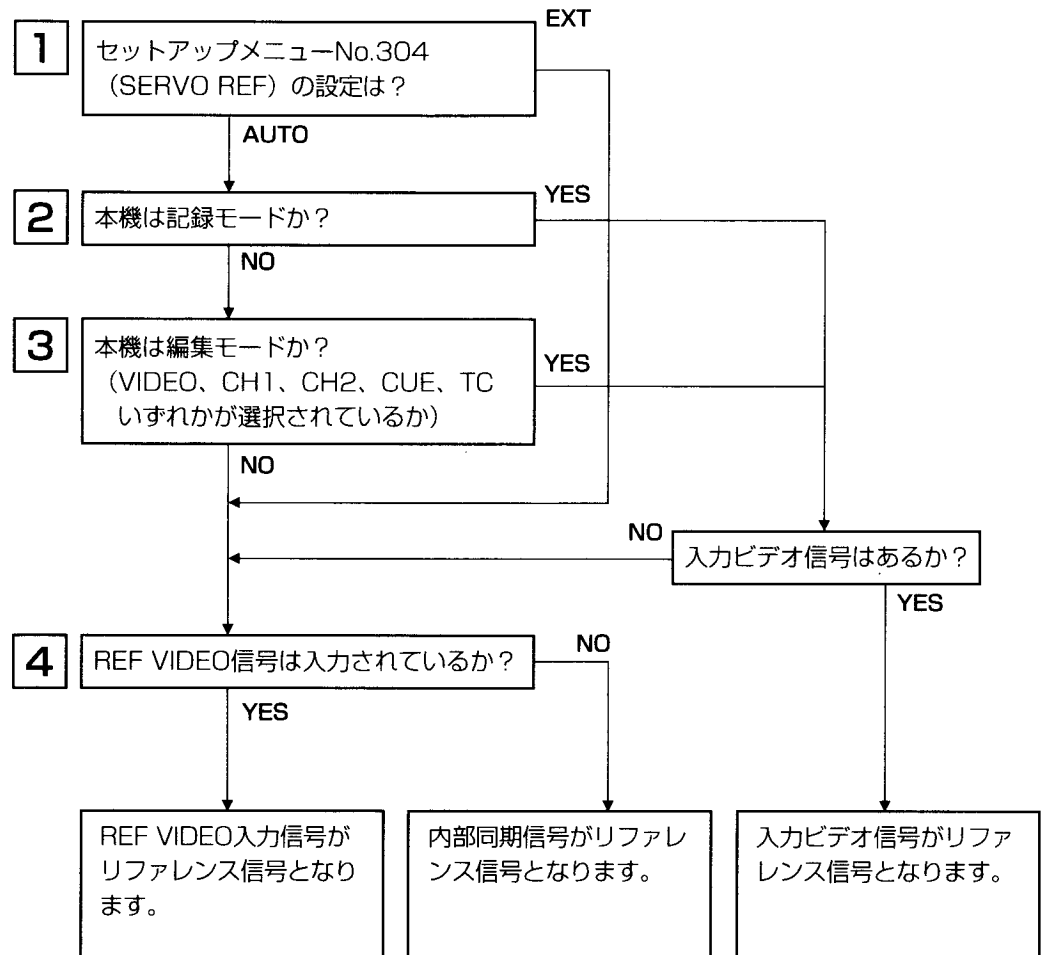
VTR動作モード

モニターテレビ

# サーボリファレンス

本機はサーボ用のリファレンス（基準）信号としてINPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF VIDEO入力端子より入力したリファレンスビデオ信号、またはINTのいずれかを自動的に選択します。

選択の時は下記のフローチャートのように、本機のモードとサーボリファレンスの設定が関係します。



## サーボリファレンス設定表

サーボリファレンス信号は、サーボリファレンス、デッキのモードおよび入力信号の有無に応じて、下表のように切換えられます。再生および記録でのリファレンス（基準）が一致していないと、編集および記録再生のモード移行時、画像が乱れたり、移行が遅れたりすることがあります。

### ■ 再生または特殊再生時

| セットアップメニュー<br>No.304 (SERVO<br>REF) の位置 | 入力信号の状態    |          | リファレンス信号<br>(サーボ基準) |
|---|------------|----------|---------------------|
|   | VIDEO IN信号 | REF IN信号 |                     |
| AUTO                                    | ○          | ○        | REF IN信号            |
|   | ○          | ×        | 内部同期信号              |
|   | ×          | ○        | REF IN信号            |
|   | ×          | ×        | 内部同期信号              |
| EXT                                     | ○          | ○        | REF IN信号            |
|   | ○          | ×        | 内部同期信号              |
|   | ×          | ○        | REF IN信号            |
|   | ×          | ×        | 内部同期信号              |

### ■ 記録または編集時

| セットアップメニュー<br>No.304 (SERVO<br>REF) の位置 | 入力信号の状態    |          | リファレンス信号<br>(サーボ基準) |
|---|------------|----------|---------------------|
|   | VIDEO IN信号 | REF IN信号 |                     |
| AUTO                                    | ○          | ○        | VIDEO IN信号          |
|   | ○          | ×        | VIDEO IN信号          |
|   | ×          | ○        | REF IN信号            |
|   | ×          | ×        | 内部同期信号              |
| EXT                                     | ○          | ○        | REF IN信号            |
|   | ○          | ×        | 内部同期信号              |
|   | ×          | ○        | REF IN信号            |
|   | ×          | ×        | 内部同期信号              |

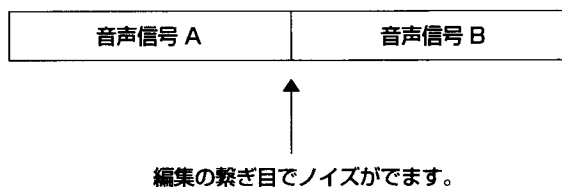
○は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

# 音声Vフェード機能

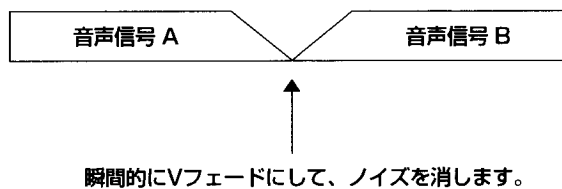
---

編集時、編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.309、310）の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。（ただし、再生フェード選択（No. 719）がAUTOの場合）

## 編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.309、No.310）がCUTの場合



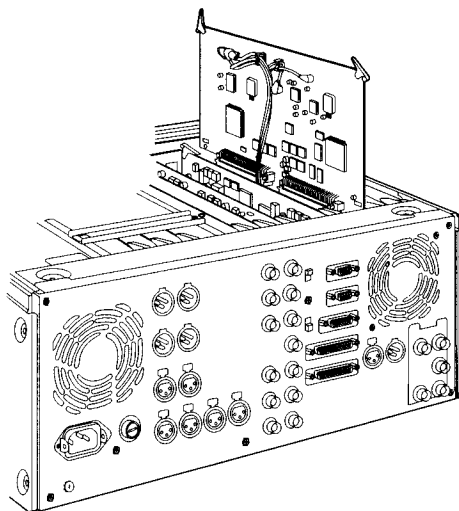
## 編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.309、No.310）がFADEの場合



### <ノート>

- 再生フェード選択（No.719）がCUTの場合、全ての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択（No.719）がFADEの場合、全ての繋ぎ目がVフェードします。

# 回路板

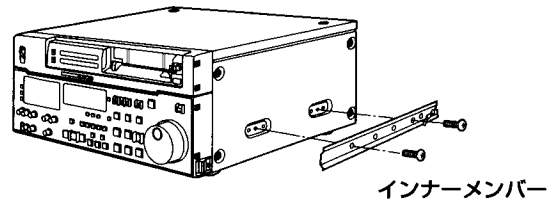


| 回路板           | 略称名   | フルネーム                         | 設定目的  | 初期設定 |
|---------------|-------|-------------------------------|---|------|
| F8基板<br>ADDA1 | SW1   | AUDIO INPUT<br>IMPEDANCE SW   | CH1のAUDIO入カインピーダンスを設定<br>します。<br>HIGH/600Ω                            | HIGH |
|               | SW41  | AUDIO INPUT<br>IMPEDANCE SW   | CH2のAUDIO入カインピーダンスを設定<br>します。<br>HIGH/600Ω                            | HIGH |
| H2基板<br>CUE   | SW101 | CUE INPUT<br>IMPEDANCE SW     | CUE入カインピーダンスを設定します。<br>HIGH/600Ω                                      | HIGH |
| F4基板          | SW940 | コンポーネント<br>Pb/Pr出力レベル<br>切換SW | コンポーネント信号で、編集機と接続する<br>場合に設定します。<br>MII : MIIのレベル<br>BETA : β-CAMのレベル | BETA |

# ラックマウント

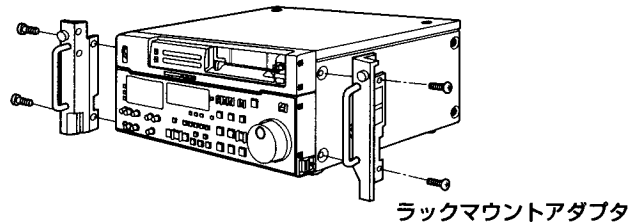
本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P（別売品）をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、（株）ウインステッド・ジャパン社製 MODEL. 8211のレールとブラケットを使用することをお薦めします。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 本機の左右のネジを外します。
- 2 外したネジで、スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。

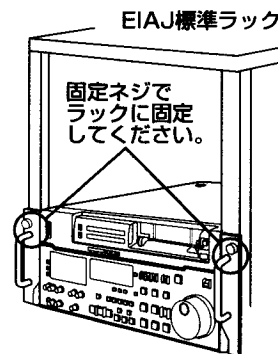


使用するネジは、長さ制限があります。取り付けネジを紛失した場合は、長さ10ミリ以下のものをご使用ください。  
インナーメンバーは、必ず4個ネジ止めしてください。

- 3 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。  
左右の高さが同じであるかを確認してください。
- 4 付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足（4ヶ所）を外し、本機をラックに取り付けます。  
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



## <ノート>

- ラック内の温度は5℃～40℃に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

# コネクタの信号

## VIDEO IN

|                     |         |                   |
|---------------------|---------|-------------------|
| SERIAL IN (DIGITAL) | BNC × 2 | アクティブスルー (オプション)  |
| Y、Pb、Pr (ANALOG)    | BNC × 3 |                   |
| VIDEO IN            | BNC × 2 | ループスルー 75Ω終端スイッチ付 |
| REF VIDEO IN        | BNC × 2 | ループスルー 75Ω終端スイッチ付 |

## VIDEO OUT

|                      |         |         |
|----------------------|---------|---------|
| SERIAL OUT (DIGITAL) | BNC × 3 | (オプション) |
| Y、Pb、Pr (ANALOG)     | BNC × 3 |         |
| VIDEO OUT            | BNC × 3 |         |

## AUDIO IN

|                     |         |                        |
|---------------------|---------|------------------------|
| SERIAL IN (DIGITAL) | BNC × 2 | (オプション)                |
| AUDIO IN (DIGITAL)  | XLR × 2 | CH1/CH2 AES/EBU フォーマット |
| AUDIO IN (ANALOG)   | XLR × 2 | CH1、CH2                |
| CUE IN              | XLR × 1 |                        |
| TIME CODE IN        | XLR × 1 |                        |

| ピンNo. | 内容   |
|-------|------|
| 1     | GND  |
| 2     | HOT  |
| 3     | COLD |

## AUDIO OUT

|                      |         |                        |
|----------------------|---------|------------------------|
| SERIAL OUT (DIGITAL) | BNC × 3 | (オプション)                |
| AUDIO OUT (DIGITAL)  | XLR × 2 | CH1/CH2 AES/EBU フォーマット |
| AUDIO OUT (ANALOG)   | XLR × 2 | CH1、CH2                |
| CUE OUT              | XLR × 1 |                        |
| TIME CODE OUT        | XLR × 1 |                        |
| MONITOR OUT          | XLR × 2 | L (CH1)/R (CH2)        |
| HEADPHONES (フロント)    | M6      |                        |

## RS-422A REMOTE (9P)

### REMOTE IN/OUT

| ピンNo. | 信号内容         | ピンNo. | 信号内容            | ピンNo. | 信号内容         |
|-------|--------------|-------|-----------------|-------|--------------|
| 1     | FRAME GROUND | 4     | RECEIVE COMMON  | 7     | TRANSMIT B   |
| 2     | TRANSMIT A   | 5     | —————           | 8     | RECEIVE A    |
| 3     | RECEIVE B    | 6     | TRANSMIT COMMON | 9     | FRAME GROUND |

### REMOTE OUT

| ピンNo. | 信号内容         | ピンNo. | 信号内容            | ピンNo. | 信号内容         |
|-------|--------------|-------|-----------------|-------|--------------|
| 1     | FRAME GROUND | 4     | TRANSMIT COMMON | 7     | RECEIVE B    |
| 2     | RECEIVE A    | 5     | —————           | 8     | TRANSMIT A   |
| 3     | TRANSMIT B   | 6     | RECEIVE COMMON  | 9     | FRAME GROUND |

# コネクタの信号

## PARALLEL REMOTE (25P)

| ピンNo. | 信号内容                    | ピンNo. | 信号内容             | ピンNo. | 信号内容               |
|-------|-------------------------|-------|------------------|-------|--------------------|
| 1     | PLAY COMMAND            | 10    | —————            | 19    | STAND BY ON STATUS |
| 2     | STOP COMMAND            | 11    | —————            | 20    | PREROLL STATUS     |
| 3     | FF COMMAND              | 12    | +10V以上、MAX 300mA | 21    | SERVO LOCK STATUS  |
| 4     | REW COMMAND             | 13    | PLAY STATUS      | 22    | —————              |
| 5     | REC COMMAND             | 14    | STOP STATUS      | 23    | —————              |
| 6     | EJECT COMMAND           | 15    | FF STATUS        | 24    | —————              |
| 7     | STAND BY ON/OFF COMMAND | 16    | REW STATUS       | 25    | GND                |
| 8     | PREROLL COMMAND         | 17    | REC STATUS       |       |                    |
| 9     | IN SET COMMAND          | 18    | EJECT STATUS     |       |                    |

<ノート>

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOW エッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax.6mAで出力されます。

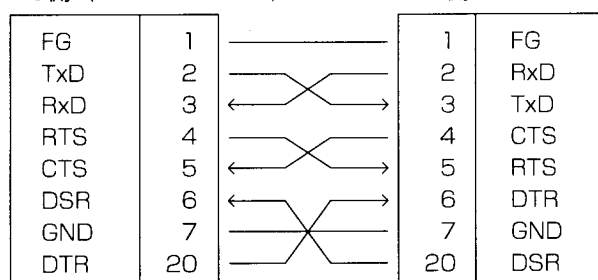
## RS-232C REMOTE (D-SUB 25ピン、クロスケーブル対応、オプション)

| ピンNo. | 略号           | 回路名称      | 内容           |
|-------|--------------|-----------|--------------|
| 1     | FRAME GROUND | 保安用接地     | フレームグランド     |
| 2     | RxD          | 受信データ     | PCへデータを送信する  |
| 3     | TxD          | 送信データ     | PCからデータを受信する |
| 4     | CTS          | 送信可       | 5番ピンと短絡      |
| 5     | RTS          | 送信要求      | 4番ピンと短絡      |
| 6     | DTR          | データ端末レディ  | 未処理          |
| 7     | GND          | 信号用接地     | 信号用GND       |
| 20    | DSR          | データセットレディ | 通信可能状態後正電力出力 |

• コントローラ (PC) との接続例 (D-SUB 25ピンクロスケーブルを使用)

PC側 (D-SUB 25ピン)

VTR側



## ENCODER REMOTE (15P)

| ピンNo. | 信号内容    | ピンNo. | 信号内容               | ピンNo. | 信号内容               |
|-------|---------|-------|--------------------|-------|--------------------|
| 1     | —————   | 6     | SYSTEM H 0         | 11    | RET GND            |
| 2     | SET UP  | 7     | SYS. SC COARSE (2) | 12    | —————              |
| 3     | C LEVEL | 8     | -12V               | 13    | —————              |
| 4     | GND     | 9     | HUE                | 14    | SYS. SC FINE       |
| 5     | +12V    | 10    | VIDEO LEVEL        | 15    | SYS. SC COARSE (1) |



## ビデオヘッドクリーニング

---

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。クリーニング液は当社指定のものをご使用ください。

## 結露

---

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同じ原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このような所へ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したまでお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

## ■お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

# エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。  
ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、  
本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを  
表示します。

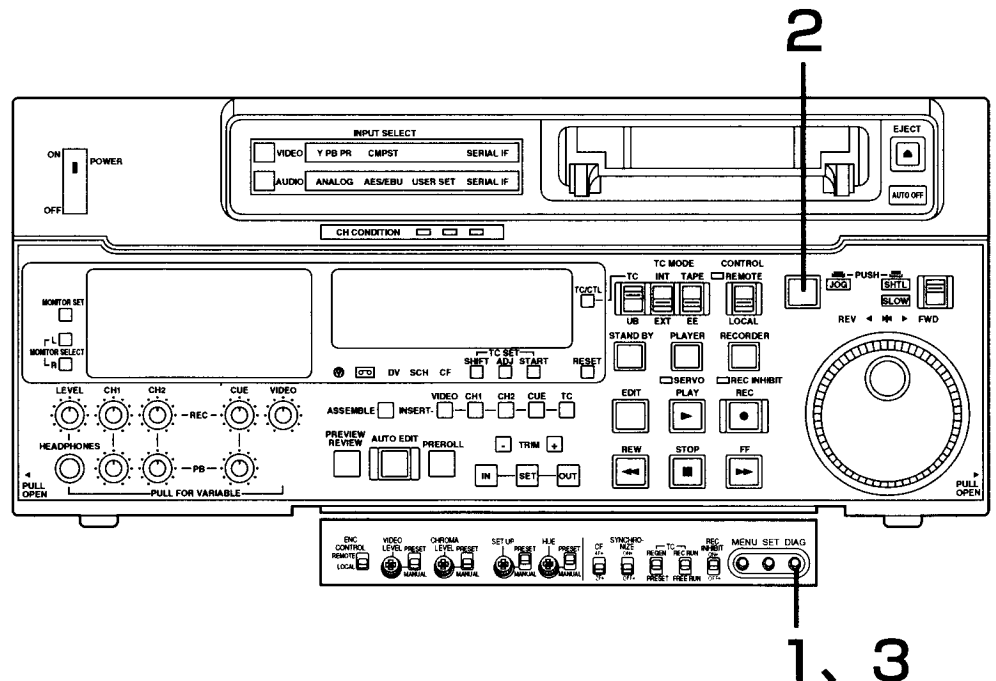
## ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ（使用時間）情報があります。モニターテレビと  
コネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出  
ます。

### ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。  
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にメッセージがそれぞれ  
表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報とアワーメータ情報の表示が切り替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



### ワーニング情報の表示

- ワーニング発生（ワーニングランプ点灯）時は、ワーニングメッセージを表示します。ワー  
ニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することが  
できます。

## アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル（\*）が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンタ表示部に表示します。

| 項目No. | 項目          | 内容   |
|-------|-------------|--|
| H00   | OPERATION   | 電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。  |
| H01   | DRUM RUN    | ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。  |
| H02   | TAPE RUN    | FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時（ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。         |
| H03   | THREADING   | スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。   |
| H11   | DRUM RUN r  | ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能）  |
| H12   | TAPE RUN r  | FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時（ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能） |
| H13   | THREADING r | スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。（リセット可能）   |

### <ノート>

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

| 優先順位               | 表示                          | 内容  |
|--------------------|-----------------------------|---|
| 高い<br>↑<br>↓<br>低い | エラーメッセージ<br>(エラーメッセージ表参照)   | 本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。   |
|                    | INT BB                      | セットアップメニューNo.601 (INT BB SIG) で「BB」が選択されている場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。<br>編集の開始時2秒間も同様に表示されます。       |
|                    | NO INPUT                    | アナログオーディオを除き、INPUT SELECTスイッチにより選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。<br>編集の開始時2秒間も同様に表示されます。 |
|                    | ワーニングメッセージ<br>(エラーメッセージ表参照) | 本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。<br>複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。                                    |

## ワーニングメッセージ

| 優先順位               | カウンタ表示部およびモニターテレビの表示 | 内容   | VTRの動作 |
|--------------------|----------------------|--|--------|
| 高い<br>↑<br>↓<br>低い | FAN STOP             | ファンモータが停止した場合に表示します。                               | 動作継続   |
|                    | SERVO NOT LOCKED     | 再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。                     | 動作継続   |
|                    | LOW RF               | 再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。      | 動作継続   |
|                    | HIGH ERROR RATE      | エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合に表示します。 | 動作継続   |

# エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

| カウンタ表示部の表示           | モニターテレビの表示         | 内 容   | VTR(処置)の動作           |
|----------------------|--------------------|---|----------------------|
| CAP ROTATE TOO SLOW  | CAP ROTA TOO SLOW  | キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| CAP TENSION ERROR    | CAP TENSION ERROR  | キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。  | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| DEW                  | DEW                | 結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。<br>結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。</li> <li>• カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。</li> </ul> | EJECT                |
| DRUM ROTATE TOO FAST | DRUM ROTA TOO FAST | シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| DRUM ROTATE TOO SLOW | DRUM ROTA TOO SLOW | シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| E-FF                 | E-FF               | ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端及びテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| FRONT LOAD ERROR     | FRONT LOAD ERROR   | ローディング途中 (ハーフポジション) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。  | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| FRONT LOAD MOTOR     | FRONT LOAD MOTOR   | EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。<br><ノート><br>カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| LOADING MOTOR        | LOADING MOTOR      | アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。<br><ノート><br>ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード (アンローディングモード) へ移行します。  | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| REEL DIR UNMATCH     | REEL DIR UNMATCH   | 巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |

| カウンタ表示部の表示           | モニターテレビの表示         | 内 容   | VTR(処置)の動作           |
|----------------------|--------------------|---|----------------------|
| REEL TENSION ERROR   | REEL TENSION ERROR | リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| SERVO COMM ERROR     | SERVO COMM ERROR   | サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。                       | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| SERVO CONTROL ERROR  | SERVO CONTROL ERR  | サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| SERVO ERROR          | SERVO ERROR        | 瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。                                       | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| S-FF/REW TIMEOVER    | S-FF/REW TIMEOVER  | 始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| S REEL ROTA TOO FAST | S REEL TOO FAST    | Sリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。  | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| S REEL TORQUE ERROR  | S REEL TORQUE ERR  | Sリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合。若しくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。    | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| T REEL ROTA TOO FAST | T REEL TOO FAST    | Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。  | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| T REEL TORQUE ERROR  | T REEL TORQUE ERR  | Tリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。                                    | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| UNLOAD ERROR         | UNLOAD ERROR       | アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。   | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| WINDUP ERROR         | WINDUP ERROR       | テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 | 停止<br>(POWER OFF→ON) |
| WINDUP REEL NOT ROTA | W-UP REEL NOT ROTA | カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。             | 停止<br>(POWER OFF→ON) |

# 定 格

## [総合]

|      |                   |
|------|-------------------|
| 電源   | AC100V, 50Hz/60Hz |
| 消費電力 | 165W              |

|              |   |
|--------------|---|
| 動作周囲温度       | 5°C~40°C                                  |
| 動作周囲湿度       | 10%~90% (結露なし)                            |
| 重量           | 18Kg                                      |
| 外形寸法         | 424 (幅) × 175 (高さ) × 415 (奥行) mm          |
| 記録フォーマット     | DVCPROフォーマット                              |
| 記録トラック       | デジタル・ビデオ                                  |
| タイムコード       | サブコード領域に記録                                |
| デジタルオーディオ    | 2 CH                                      |
| キュートラック      | 1トラック                                     |
| コントロール (CTL) | 1トラック                                     |
| テープスピード      | 33.820mm/秒                                |
| 記録時間         | 126分 (AJ-P126LP使用時)<br>66分 (AJ-P66MP使用時)  |
| 使用テープ        | 1/4"薄磁性層メタルテープ                            |
| FF/REW時間     | 3分以内 (AJ-P126LP使用時)<br>2分以内 (AJ-P66MP使用時) |
| 編集精度         | ±0フレーム (タイムコード使用時)                        |
| テープタイマー精度    | ±1フレーム (連続CTL信号使用時)                       |
| サーボロック時間     | 0.5秒以内 (カラーフレーミング/スタンバイON)                |

## [ビデオ]

|                             |                                   |  |
|-----------------------------|-----------------------------------|--|
| (デジタルビデオ)                   | サンプリング周波数                         | Y: 13.5MHz, Pb/Pr: 3.375MHz  |
|                             | 量子化                               | 8bits  |
|                             | エラー訂正                             | リードソロモンプロダクトコード  |
| (デジタルIN/アナログ・コンポーネントOUT)    | 映像帯域                              | Y: 30Hz~5.5MHz (±0.5dB),<br>5.75MHz (-2dB)<br>Pb, Pr: 30Hz~1.3MHz (±1dB),<br>1.5MHz (-5dB) Typ.  |
|                             | S/N比                              | 60dB以上   |
|                             | Kファクター                            | 1%以下   |
| (アナログ・コンポーネントIN/コンポーネントOUT) | 映像帯域                              | Y: 30Hz~5.5MHz (±1dB),<br>5.75MHz (-3dB)<br>Pb, Pr: 30Hz~1.3MHz (±1dB),<br>1.5MHz (-5dB) Typ.    |
|                             | S/N比                              | 55dB以上   |
|                             | Kファクター                            | 1%以下   |
| (アナログ・コンポジットIN/コンポジットOUT)   | 映像帯域                              | Y: 30Hz~4.5MHz (-1dB)  |
|                             | DG                                | 4%以下   |
|                             | DP                                | 3°以下   |
|                             | Y/Cディレイ                           | 20nsec以下   |
|                             | Kファクター                            | 2%以下   |
| (入力端子)                      | アナログ・コンポーネント入力                    | BNC×3 (Y, Pb, Pr)<br>Y: 1.0Vp-p, 75Ω<br>Pb, Pr: 0.525/0.757Vp-pt切換え, 75Ω<br>(75%カラーバー, 0%セットアップ) |
|                             | アナログ・コンポジット入力                     | BNC×2, ループスルー, 75Ω On/Off  |
|                             | リファレンス入力                          | アナログ・コンポジット<br>BNC×2, ループスルー, 75Ω On/Off   |
|                             | シリアル・デジタル<br>コンポーネント入力<br>(オプション) | SMPTE 259M-C規格に準拠<br>BNC×2, アクティブスルー   |

|                          |                                   |   |
|--------------------------|-----------------------------------|---|
| ) (出力端子)                 | アナログ・コンポーネント出力                    | BNC×3 (Y, Pb, Pr)<br>Y: 1.0Vp-p, 75Ω<br>Pb, Pr: 0.525/0.757Vp-p切換え、75Ω<br>(75%カラーバー、0%セットアップ) |
|                          | アナログ・コンポジット出力                     | BNC×3<br>ビデオ1/ビデオ2/ビデオ3 (スーパーOn/Off)  |
|                          | シリアル・デジタル<br>コンポーネント出力<br>(オプション) | SMPTE 259M-C規格に準拠<br>BNC×3  |
| (ビデオ信号調整)                | コンポジット・ビデオ入力信号                    | ±3dB  |
|                          | ビデオ出力ゲイン                          | ±3dB  |
|                          | ビデオ出力クロマ・ゲイン                      | ±3dB  |
|                          | ビデオ出力ヒュー                          | ±30°  |
|                          | ビデオ出力セットアップ                       | ±15IRE  |
|                          | ビデオ出力シンク位相                        | ±8μsec  |
|                          | ビデオ出力SC位相                         | ±180°   |
|                          | ビデオ出力Y/Cディレー                      | ±300nsec  |
| ) [オーディオ]<br>(デジタルオーディオ) | サンプリング周波数                         | 48kHz   |
|                          | 量子化                               | 16bits  |
|                          | 周波数特性                             | 20Hz~20KHz±1.0dB  |
|                          | ダイナミックレンジ                         | 90dB以上<br>(1kHz、エンファシス off、“A” weighted)  |
|                          | 歪率                                | 0.05%以下<br>(1kHz、エンファシス off、基準レベル)  |
|                          | クロストーク                            | -80dB以下<br>(1kHz、2チャンネル間)   |
|                          | ワウ&フラッター                          | 測定可能値以下   |
|                          | ヘッドルーム                            | 20dB  |
|                          | エンファシス                            | T1=50μsec/T2=15μsec (On/Off可)   |
|                          | (キュートラック)                         | 周波数特性   |
| ) (入力信号)                 | アナログ入力 (CH1/CH2)                  | XLR×2、600Ω/Highインピーダンス (切換可)、<br>+4/0/-20dBu  |
|                          | デジタル入力 (CH1/CH2)                  | XLR×1、AES/EBUフォーマット   |
|                          | シリアル・デジタル入力<br>(オプション)            | SMPTE 259M-C、272M規格に準拠 (BNC)  |
|                          | キュートラック入力                         | XLR×1、600Ω/Highインピーダンス (切換可)、<br>+4/0/-20/-60dBu  |
| (出力信号)                   | アナログ出力 (CH1/CH2)                  | XLR×2、Lowインピーダンス、+4/0/-20dBu  |
|                          | デジタル出力 (CH1/CH2)                  | XLR×1、AES/EBUフォーマット   |
|                          | シリアル・デジタル出力<br>(オプション)            | SMPTE 259M-C、272M規格に準拠 (BNC)  |
|                          | キュートラック出力                         | XLR×1、Lowインピーダンス、+4/0/-20dBu  |
|                          | モニター出力                            | XLR×2、Lowインピーダンス、+4/0/-20dBu  |
|                          | ヘッドホーン                            | レベル可変、M6、8Ω   |
| ) [その他入出力信号]             | タイムコード入力                          | XLR×1、0.5~8Vp-p   |
|                          | タイムコード出力                          | XLR×1、2.0Vp-p   |
|                          | RS-422A入力                         | D-sub 9pin、RS-422Aインターフェイス  |
|                          | RS-422A出力                         | D-sub 9pin、RS-422Aインターフェイス  |
|                          | RS-232C (オプション)                   | D-sub 25pin、RS-232Cインターフェイス   |
|                          | パラレル入出力                           | D-sub 25pin   |
|                          | エンコーダリモート                         | D-sub 15pin   |

---

**松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部**

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)901-1161